

平成 24 年度 河川レンジャー年間活動計画 (案)

平成 24 年 2 月

木津川出張所管内河川レンジャー

山村 武正
福井 波恵
田中 実知世
山田 信人

目 次

1.	平成 24 年度	山村河川レンジャー年間活動計画	1
2.	平成 24 年度	福井河川レンジャー年間活動計画	38
3.	平成 24 年度	田中河川レンジャー年間活動計画	58
4.	平成 24 年度	山田河川レンジャー年間活動計画	90
5.	平成 24 年度	木津川管内河川レンジャー連携年間活動計画	113

1. 平成 24 年度 山村河川レンジャー年間活動計画

1.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする山村レンジャーは以下の活動テーマのもと、15の活動を実施します。

活動テーマ

木津川を身近に

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
環境保全を図る活動	木津川の川調べ 活動①親子花見乗船体験 活動②親子自然観察会（昆虫） 活動③川で遊ぼう 魚をとろう 活動④ツバメのねぐら入り 活動⑤自然観察会（植物） 木津川清掃 活動①全域 木津川植物モニタリング（全域）
河川の適正な利用、歴史・文化の普及活動	木津川展（共同） 木津川ってどんな川 活動①木津川出前講座 活動②京田辺市文化祭 活動③京田辺市中部流域センター祭り 活動④京都府環境フェスタ 活動⑤防賀川を考える
防災の推進を図る活動	地域で考えよう防災 防災施設の見学会
	木津川沿川活動団体交流会（共同）

メモ(案)

4月 8日	親子花見乗船体験
5月13日	春の木津川花散策
6月 2日	城陽市スポーツキッズ 魚とり
6月 8日	神矢樋門排水テスト
6月16日	木津川清掃
6月24日	親子自然観察会
7月22日	木津川で川遊び 魚とり(防災)
8月11日	ツバメのねぐら入り観察会
8月16日	灯呂流し
8月19日	喜撰山ダム・発電施設、天ヶ瀬ダム見学
8月26日	木津川で川遊び 魚とり(防災)
9月15日	秋の木津川花散策
11月3・4日	京田辺市市民文化祭 展示
11月17・18日	京田辺市中部住民センター祭 展示
12月8・9日	京都府環境フェスタ
1月19日	木津川沿川活動団体交流会
2月中旬	木津川展

木津川植物モニター	月1回以上
木津川出前講座	随時

1.2 木津川の川調べ

活動① 親子花見乗船体験

(1) 活動目的

地域の水路として改修されその堤に桜並木が整い美しい景観をつくりだし、京田辺市の桜の名所としての地位を築きつつある馬坂川に農業用水路を活用し貯水の上、小舟による桜を見る会を開催した。

約3時間の取り組みだったが、大変人気が上がった。今年も地元商店街や自治会などに加えて摂南大学や同志社大学生の皆さんと連携し、年間を通じた河川清掃を取り組みつつ輪を大きくして取り組む

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	8日(日)実施	後援申請 チラシの作成と配布 借用物の申請 川の清掃 地元商店街や自治会との連携 まとめと報告書の提出
	5月		反省会
	6月		
	7月		
	8月	16日(木)灯呂流しと防賀川清掃	
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月	24日(日)馬坂川清掃	

- (2) 参加対象者 運営会議対象区域内の流域住民
定員 300名(小学生以下は保護者同伴)

(3) 実施内容

講師 大植登 藤田進
指導者 山村武正 郡角治
スタッフ 連合自治会 40名 西口兵治河原区長ほか8名
河野俊夫商店街会長ほか10名 東住宅有志10名
同志社大学生摂南大学生 5名 その他多数
NPO やましろ里山の会 20名

プログラム

9:30 スタッフ集合 打合せ
10:00 乗船開始 事前学習の実施 諸注意
水防 水質 洪水 自然環境などの説明 15分
約15分間の乗船
15:00 終了

(4) 実施日 2012年4月8日(日)

(5) 実施場所 京田辺市河原地域 馬坂川 下流部500m域



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：20名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 検討中もあり

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い
- ライフジャケットの提供

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

京都府への法面階段設置要望

(11) 活動を行ううえでの課題等

十分な安全対策

(12) その他

1.3 木津川の川調べ

活動② 自然観察会（植物）

（1）活動目的

堤防は人々の暮らしや財産を水害から守る役割を受持っている貴重な施設です。この施設の管理に草刈が行われています。木津川の堤防は、河川の砂を使っているため、貧栄養で貴重な植物が生育しています。それらは以前家畜（牛など）の餌や堆肥の原料として土手や里山道の草が使われていました。ところが、農業の機械化などで草の必要性が無くなり、草刈が行われなくなりました。

しかし、現在国土交通省が行っている堤防の草刈りは安全管理を目的にしています。ところがその草刈作業は、これまで農家が行ってきた自然管理を肩代わりすることになって、行われなくなった堤防での草刈り作業を継続する結果となっています。その結果木津川堤防には917種の植物が生育し、絶滅危惧植物38種が確認される貴重な自然保護のための作業となっています。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		実施計画の立案 広報の手配
	5月	13日 春の木津川花散策	資料作成 講師スタッフ打合せ 結果のまとめ 後援団体への報告書提出
	6月		実施計画の立案 広報手配
	7月		参加呼びかけ作業 チラシ配布
	8月		講師・スタッフ打合せ
	9月	15日 秋の木津川花散策	現地下見 資料作成 結果まとめ 後援団体への報告書提出
	10月		
	11月		
	12月		実施計画の立案 広報手配
平成 25 年	1月		参加呼びかけ作業 チラシ配布
	2月		実施計画の立案 広報の手配
	3月	20日 早春の木津川花散策	資料作成 講師スタッフ打合せ 結果のまとめ 後援団体への報告書提出

- （2）参加対象者 運営会議対象区域内の流域市民
定員 30人（小学生以下は保護者同伴）

(3) 実施内容

- 植物に関するお話と現地説明
- 木津川に関する過去の洪水と安全対策のお話

講師

指導者 湯川幸子 伊藤千恵子

スタッフ 森島保 深田三郎

プログラム

9:30	集合	開会挨拶	コース説明	講師紹介	自己紹介
9:40	お話	木津川に関する洪水と安全対策について			
10:00	花の散策				
11:45	まとめと感想発表				
12:15	現地解散				

(4) 実施日

5月13日

9月15日

3月20日

小雨決行 予備日なし

(5) 実施場所

木津川堤防 未定

(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- | | 講師 | 指導者 | スタッフ |
|----------|----------|------------|-------------|
| ○ 協力スタッフ | やましろ里山の会 | 5名 | (運営補助、安全管理) |
| ○ 講師(予定) | 光田重幸 | (同志社大学准教授) | 植物に関するお話 |

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成と配布
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

事前の広報の不足から参加者が減少している。十分な広報期間を持つこと

(11) 活動を行ううえでの課題等

木津川にその時期に生育している植物の一覧表など用意すること

(12) その他

1.4 木津川の川調べ

活動②親子自然観察会（昆虫）

（1）活動目的

40年前の木津川は一面が白砂で樹木など影も形もなかった。上流のダム建設により水量が調整され、大きな出水が無くなり、故薄意識への浸水も少なくなってきたため、樹木が大きくなり、今日では林状を呈するようになってきた。高水敷の樹木は一定伐採されたが低水域の樹木にまでは至っていない。

この木津川ではジャコウアゲハとホソオチョウによる在来種と外来種の関係が特に面白く、自然を身近に接する機会として親子自然観察会を開催する。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		実施計画の立案 広報手配 参加呼びかけチラシの作成と配布 雨天対策企画と会場確保
	5月		
	6月	24日（日）実施	現地確認 資料作成 講師とスタッフの依頼と確保 結果のまとめ 後援団体への報告書提出
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	平成 25 年	1月	
2月			
3月			

（2）参加対象者・定員

流域住民 50人（小学生以下は保護者同伴）

(3) 実施内容

- 昆虫に関するお話
 - 木津川の歴史と特徴
- 講師 桜谷保之 (近畿大学教授)
指導者 野村治 姫野涼太郎
スタッフ 大村幸正 森島保 大植登
- プログラム
- | | | |
|-------|------------------|--------------------|
| 9:00 | スタッフ集合 | 日程確認 |
| 9:30 | 受付 | |
| 10:00 | 開会のセレモニー | 挨拶 講師紹介 自己紹介 注意点連絡 |
| 10:15 | 観察会場に移動 | |
| 10:30 | 観察を開始 | 適当な時間に休憩と解説 |
| 11:00 | 養蜂農家からミツバチのお話を聞く | |
| 11:15 | 帰路に着く | |
| 11:45 | 住民センターにて | まとめ 採集昆虫の説明 |
| 12:00 | 木津川レンジャーについて説明 | |
| 12:30 | 解散 | |

(4) 実施日 2012年6月24日 (日)

(5) 実施場所 木津川左岸 京田辺市 山城大橋～近鉄鉄橋 約1km



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 桜谷保之 (近畿大学教授) 昆虫と植物に関するお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

雨天時企画を準備する せせらぎホールの借用
業者による草刈り時期の調整を行う事

(11) 活動を行ううえでの課題等

暑さを等天候に注意すること 特に幼児の参加については注意

(12) その他

1.5 木津川の川調べ

活動③川で遊ぼう 魚をとろう

(1) 活動目的

河川の整備、ダムの建設によって川の環境が大きく変わる中、木津川に生育する魚の種類も多く、堤防や河川敷の動植物の豊かさなど自然の姿を多く残している。すこしは改善されたとはいえペットボトルや空き缶や生活ゴミ、生活排水による水質浄化、砂利の蓄積によるワンドの減少、外来種やカワウなどによる魚類をはじめとする水生生物の減少は事実です。また、川の汚れと、事故への危険から子どもたちを遠避けられていることもあり、川との関わりはますます少なくなっている。このような現実の中、川で遊ぶことは、子どもたちにとって貴重な体験になっている。文句なしに楽しいこと、川の抱えている多くの課題に気づくこと、川を愛し親しむ心を育てることが川を守り育てることにつながっていきます。

昨年度の取組では3回で800人の申し込みがあり、安心して参加できる催しに大きな期待が寄せられました。

「川で遊ぼう 魚をとろう」は以下の目的のもとに実施します。

- 1 木津川に生息する魚、水生生物を捕まえる楽しさを体験し、木津川に様々な生き物がいることを知る。
- 2 魚の事や水質検査を通して、木津川の現状を知り、木津川への関心を高める。
- 3 親子で自然に親しむ活動を体験することで自然環境への関心を高めめる。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月	2日キッズスポーツ広場「魚をとろう」	城陽市教育委員会 要請
	7月	22日 広く公募する（または防災）	実施計画の立案 会場の確認 駐車場の確保 広報の手配 参加呼びかけの手配 チラシの配布 講師とスタッフの手配 雨天対策として会場確保 後援依頼 借用物手配
	8月	26日（日）実施	会場への通路整備 資料作成 案内看板の作成と設置 安全対策の打合せ 講師スタッフの打合せ 水質検査手配 結果とまとめの作成 後援団体への報告
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

- (2) 参加対象者 運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
定員 150人（小学生80名 保護者50名）

(3) 実施内容

講師

指導者 山田信人 (元木津高校教諭) 上田光弘 (自然愛好家)

スタッフ 吉川禮子 大村幸正 森島保 山本雅晃 黒光輝政 徳田武治
深田三郎 近藤宏一 伊藤千恵子 青代茂治 小川三良 その他数人

プログラム

9:30	集合	受付
9:40	ミーティング	諸注意
10:00	魚とり開始	
10:40	休憩	
11:00	第2回目魚取り	
11:40	休憩	
12:00	まとめと閉会挨拶	感想文の提出
12:10	解散	後始末

(4) 実施日 2012年7月22日(8月26日) 6月2日

(5) 実施場所 山城大橋下 青谷川河口



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協カスタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 山田信人 (木津川レンジャー) 水質調査についてお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協カスタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

降雨と台風、高山ダムの放流に注意すること
青谷川と下谷樋門の改修工事が完了しているので、流路の確認が重要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

暑さ対策としてのテント設置及び給水対応をぬかりなく

(12) その他

申し込み多数の場合の抽選での当選者落選者への連絡を丁寧にする。

1.6 木津川の川調べ

活動④ツバメのねぐら入り

(1) 活動目的

近畿地方で最も多くのツバメが集中するのが観月橋の葦原だといわれている。

東西南北から戻ってくる姿は圧巻である。日本にこのような鳥の集中する場所がこのよう
な身近に存在していたのかということが参加者の感想である。しかし実際にこの場所を訪れ
た方々は少ない。それは夕暮れの短時間のセレモニーだからである。ここでの体験から自然
の姿を知り、地球環境保全の必要性を理解されるきっかけとして開催する。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		実施計画の立案 会場の確認 駐車場の確保は可能か検討 広報手配 参加呼びかけの手配 チラシ配布 講師とスタッフ手配 会場確保(雨天対策として)
	6月		借用物手配
	7月		
	8月	11日 (土) 実施	会場への通路確保確認 資料作成 案内看板の作成 設置 安全対策の検討 講師とスタッフ打合せ 結果とまとめの作成
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者 運営会議対象区域内の流域住民(小学生以下は保護者同伴)
定員 30人

(3) 実施内容

(ア) 巨椋池の話

(イ) 奈良街道や太閤堤

講師 梶田啓治 観光案内ガイド

指導者 上島裕

スタッフ 山本雅晃 伊藤千恵子

プログラム

14:00 小倉駅 水

14:20 巨椋池土地改良区事務所展示物見学

16:00 太閤堤 宇治川堤左岸 夕食 ツバメの話

19:00 ねぐら観察

19:30 解散

(4) 実施日 8月11日(土)

(5) 実施場所 京都市伏見



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 梶田啓治 京都観光ガイド

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートのいんさつ
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年は右岸から一部ねぐらりを観察したが、失敗だった
全員が左岸から観察する
講師を二重に用意したがインフルエンザや体調不良によって講師がいない
状態の対応となった。周到的準備を心がけること。

(11) 活動を行ううえでの課題等

暑さ対策及び監察適地の選定などを十分な対応をすること

(12) その他

1.7 木津川植物モニタリング（全域）

（1）活動目的

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	全域を踏破する 月に1回	83か所の生育地の確認を行う
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

（2）参加対象者・定員 特になし

（3）実施内容

講師 なし
 指導者 なし
 スタッフ 森島保 伊藤千恵子 大村幸正 青代茂治
 プログラム

（4）実施日 随時実施

（5）実施場所 木津川全域

（6）広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集（大きく行わない）
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 光田重幸 (同志社大学准教授) 植物に関するお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

その時期にあった重点的な調査

(11) 活動を行ううえでの課題等

できる限り写真撮影を行う

(12) その他

1.8 木津川ってどんな川
活動①木津川出前講座

(1) 活動目的

木津川の歴史や果たしてきた役割、現在の状況や姿は余りにも知る人が少ない。よって要請を受ければ直ちに、なければ働きかけて開催する。

スライドやポスター展示等 時には水質調査体験などを取り入れる
なるべく参加型の企画を検討する。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	随時実施	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 流域住民

(3) 実施内容

講師 河川レンジャー
 指導者 なし
 スタッフ やましる里山の会 5人程度
 プログラム 2時間プランと3時間プランを準備する

(4) 実施日 年間を通じて実施

(5) 実施場所 流域全域

(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 光田重幸 (同志社大学准教授) 植物に関するお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

要請を待っている間は年間数回出終わる 積極的な働きかけが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

説明資料を丁寧に用意すること。

(12) その他

1.9 木津川ってどんな川
活動②京田辺市文化祭

(1) 活動目的

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月	3・4日	
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 地域住民

(3) 実施内容

講師
指導者
スタッフ
プログラム

(4) 実施日 11月3・4日

(5) 実施場所 京田辺市中央体育館



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

1.10 木津川ってどんな川

活動②京田辺市中部住民センターまつり

(1) 活動目的

木津川の沿川で最も交通の便に優れた施設と言える。同時に木津川に最も接近している四つである。また植物や魚、景観でも木津川を代表する場所でもある。この施設での祭は数年連続して出展している。今年も昨年同様展示出展を行う。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月	17・18日	
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 地域住民

(3) 実施内容

- 講師
- 指導者
- スタッフ
- プログラム

(4) 実施日 11月17・18日 10時～17時

(5) 実施場所

京田辺市草内 京田辺市中部住民センター セセラギホール



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協カスタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定) 光田重幸 (同志社大学准教授) 植物に関するお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートのいんさつ
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

前年度は巨大なペースの提供があり、大いに力を発揮できた。
住民事前準備を行い期待に応えた展示にする 河床低下問題を取り上げたい

(11) 活動を行ううえでの課題等

関心ある人の展示参加を啓発すること

(12) その他

1.11 木津川ってどんな川
活動④京都府環境フェスタ

(1) 活動目的

京都関係の河川レンジャーの活動発表の場として良い機会である。
大いにPRの場として活用する。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月	8・9日	
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員 京都府民

(3) 実施内容

- 講師
- 指導者
- スタッフ
- プログラム

(4) 実施日 12月8・9日 (予定)

(5) 実施場所 京都パルスプラザ 伏見区竹田



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協カスタッフ やましろ里山の会 : 5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートのいんさつ
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

前年度は木津川河川レンジャーが中心に展示を計画した。今年は全レンジャーの共同の力を発揮するよう。十分な期間を持った準備をする。

(11) 活動を行ううえでの課題等

反省を生かした取り組みを

(12) その他

1.12 地域で考えよう防災

(1) 活動目的

木津川には多くの排水機場が設置されている、最も大規模なものは八幡排水機場である。同時に巨椋池排水機場はその比ではない。こうした排水機の運転をテスト時に見聞することは貴重な体験である。調整を図り地域住民に案内する。

その積み上げとして地域で考えよう防災として洪水体験と地震体験を実施する。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月		
	5 月		
	6 月	8 日 神矢樋門テストその他	
	7 月		
	8 月	26 日 防災を考える 8(又は川遊び魚とり)	
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 25 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2) 参加対象者・定員

(3) 実施内容

講師
指導者
スタッフ
プログラム

(4) 実施日 6月8日 京田辺市 8月26日(日) 精華町

(5) 実施場所 6月・京田辺市 8月・精華町山田荘小学校



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：20名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

1.13 防災施設の見学会

(1) 活動目的

3月11日の東日本大震災。それに引続く東京電力福島原子力発電所による放射能被害の発生、これらによって、発電や電力への関心が強くなってきている。揚力式発電としての喜撰山ダムと発電施設は注目が集まっている。この施設見学を実施し、水利用の一面を学ぶ。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月	19日 喜撰山ダム 天ヶ瀬ダム	
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

(3) 実施内容

講師
 指導者
 スタッフ
 プログラム

(4) 実施日 8月19日

(5) 実施場所



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 運営委員会議対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- 一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などでの募集案内チラシ置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 講師 指導者 スタッフ

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名 (運営補助、安全管理)
- 講師 (予定)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 小学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートのいんさつ
- 講師謝金の支払い

自治体

- 自治体広報紙での催事案内記事の掲載
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案 後援依頼の諸手続き
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ
- 後援団体への事後報告書の提出

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

2. 平成 24 年度 福井河川レンジャー年間活動計画

2.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする 福井波恵レンジャーは以下の活動テーマにもと、10の活動を実施します。

活動テーマ

木津川流域の自然観察、体験活動、クリーン活動、展示会、交流会を通して様々な団体と連携を深め、木津川の環境を良くしていこうとする人々を育てる。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川的环境保全を図る活動	活動1 親子川の学校 3回
	活動2 上狛川クリーン作戦
	活動3 木津川クリーンアップ (共同)
	活動4 木津川モニタリング
河川に係わる歴史・文化の普及 ・啓発活動	活動5 木津川市環境祭り
	活動6 木津川展 (共同)
	活動7 木津川マラソン河川レンジャー展 (共同)
	活動8 出前授業
行政と住民のコーディネート	活動9 木津川沿川活動団体交流会 (共同)
川づくりまちづくりへの参画 活動	活動10 木津川ワークショップ

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等	
平成 24 年	4月	22日(日) 溜りモニタリング	↑ 年間随時溜り調査 ↓	
	5月	13日(日) 親子川の学校 (加茂町 新川)		
		27日(日) 木津川ワークショップ (1)		
	6月	17日(日) 木津川クリーンアップ		淀川発見講座 河川レンジャー養成講座 (共同)
	7月	14日(土) 上狛川クリーン作戦 (山城町上狛川)		山田 R と共同
		22日(日) 木津川ワークショップ		
	8月	5日(日) 親子川の学校 in 和束川		
	9月	2日(土) 木津川ワークショップ		
		30日(日) 親子川の学校 (木津町鹿川)		
	10月	14日(日) 木津川ワークショップ		
11月	17日(土) 木津川市環境祭り			
12月				
平成 25 年	1月	19日(土) 木津川沿川活動団体活動 交流会	(共同)	
		26日(土) 溜りモニタリング		
	2月	3日(日) 木津川マラソン 河川レンジャー展	(共同)	
		10(日)~16日(土) 木津川展		
3月	16日(土) 溜りモニタリング			

2.2 活動1 親子川の学校

(1) 活動目的

昨年は親子川の学校をスクール制として13組のファミリースタッフの支援のもと25組75名のスクール生で5回の魚調査、水質検査、砂防ダム学習会を行った。昨年は雨にたたられ中止になったり活動を切りあげたり、雨天対策をしたり取り組みの準備が大変であったわりには十分な活動ができなかった。しかし、約半年間の活動を通して、ファミリースタッフはより川に関心を持ち活動を支える主体者に成長し、川を愛する仲間の輪を大きく広げる事ができた。また、同じ場所で魚とりをすることで川の変化と魚の変化が分かるなど継続して取り組むことの大切さも分かった。

本年度は規模を適正にして引き続き親子川の学校を開催し、川の美化、生き物調査、水質検査を行い、川を愛する親子とスタッフを育てていきたい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画の立案 ・広報準備 ・生徒募集 ・開校準備
	5月	13日(日) 親子川の学校 in 新川 (加茂町)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場、スタッフ手配 ・講師依頼 ・広報活動 ・資料作成 ・講師スタッフとの打ち合わせ
	6月		
	7月		
	8月	5日(日)親子川の学校 in 和束川	同上
	9月	30日(日)親子川の学校 in 鹿川	同上
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
- ・定員：50人

(3) 実施内容

- ・当日のプログラム

9:00	受付	10:40	魚あわせと生き物の話
9:20	河川レンジャーの挨拶 諸注意、活動予定		休息
9:30	クリーンアップ	11:00	水質検査
9:40	魚、生き物調査	11:40	まとめ
12:00	解散	11:50	後片付け

(4) 実施日 集合場所

- 5月13日(日) 親子川の学校 in 新川 (加茂町新川の河原)
- 8月5日(日) 親子川の学校 in 和束川 (和束町中地区公民館)
- 9月30日(土) 親子川の学校 in 鹿川 (木津川市立中央体育館)

(5) 実施場所

- 5月13日(日) 親子川の学校 in 新川 (木津川市加茂町)



8月 5日(日) 親子川の学校 in 和東川 (和東町中地区公民館)



9月 30日(日) 親子川の学校 in 鹿川 (木津川市木津町)



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の公共施設への募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：スタッフファミリー（募集）

講師：水質検査（木津川河川レンジャー：山田信人氏の出前授業）

(8) 必要支援内容

国土交通省	資料・案内送付、河川レンジャー旗・バインターの借用、 水質検査一式（パックテスト）、救急セット
やましろ里山の会	網、水槽の借用

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・活動場所下見・ 実施計画の立案
- ・講師・協力スタッフの手配、打合せ
- ・会場の手配
- ・資料・案内作成
- ・当日の運営
- ・親子川の学校たより作成 ・活動のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

河川敷及び川の清掃を魚調査の前に行い、環境美化を進めていきたい。また、参加者の中からスタッフを募集して運営を手伝ってもらえる人を育てていくよう工夫していく。

(11) 活動を行ううえでの課題等

暑いときは水分補給に気をつけ、保冷剤を準備して保健担当者を決めておく。

(12) その他

毎年ニュースを作成して配布してきたが今年も引き続き行う。

2.3 活動2 上狛川クリーン作戦（山田Rと共同）

（1）活動目的

上狛は、周囲を堀に囲まれた集落で、長径約六百メートル、短径約三百メートルのほぼレモン形をした中世以来の環濠集落として有名である。かつては環濠がおよそ三間(約5.4メートル)もあって、地元では『浦の川』と呼ばれるほど水を豊かにたたえており、狛氏の居館のある狛城の堀であると同時に、農業用水路、悪水路として利用されていた。現在は、上狛川と呼ばれ、生活排水路・稲作用水路として利用されているが、水量の減少や水質の悪化が進み10年前よりジャンボタニシの大量発生により、その歴史的景観を損なう事態になっている。上狛川を美しくする会や上狛東部農地水環境保全会と一緒に駆除活動をしてきたことで、ジャンボタニシ対策会議から農薬(スクミノン)の購入に補助金がつき、多く田んぼで使用されたことでジャンボタニシも減少した。昨年は3者で会議を持ちながらクリーン作戦として、ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査・水質調査を実施したが、今年度も内容を工夫しながら実施していきたい。なお「上狛川クリーン作戦」は、昨年同様山田、福井との共同の企画である。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		地元の住民団体と打合せ
	6月		チラシ作成・広報
	7月	14日(土) 上狛川クリーン作戦	諸準備・運営
	8月		まとめの会議
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

（2）参加対象者・定員

参加対象者：木津川市住民 小学生以下は保護者同伴

定員：特になし

(3) 実施内容

- 9:00 集合・受付
- 9:10 河川レンジャー挨拶・共催団体挨拶・参加者紹介
- 9:20 日程説明と諸注意
- 9:30 ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査
- 11:00 水質調査
- 11:40 まとめと反省
- 12:00 解散

(4) 実施日

平成24年7月14日(土)

(5) 実施場所

木津川市山城町上狛川、山城支所



(6) 広報・募集方法

- ・河川レンジャーホームページで募集
- ・自治体広報紙での募集案内
- ・一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- ・やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- ・流域にある、公共施設などでの募集案内チラシ設置
- ・山城町上狛・椿井地区長への案内、各諸団体への案内
- ・流域の掲示板展示

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ 上狛川を美しくする会、やましろ里山の会などより 5 名

(8) 必要支援内容

国土交通省 募集案内チラシ、資料、アンケートの印刷、河川レンジャー幟・バインダーの借用、救急セットの借用
上狛東部農地水環境保全会 網・水槽、バケツ・長靴の借用
自治体 広報紙での催事案内記事の掲載

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・呼びかけに賛同される皆さんや団体との打合せ
- ・協カスタッフの依頼及び打合せ
- ・募集案内チラシ、資料、アンケートの作成
- ・広報活動・参加者募集
- ・安全通路の確保と現地下見
- ・参加申し込み受付、参加者名簿の作成
- ・当日の運営
- ・アンケートのまとめ、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

この取組が継続する中、ジャンボタニシ駆除薬スクミノンへの補助金を実現するという大きな成果が見られた。木津川市の職員の方々も参加・注目してきている取組を、今後も継続していくため、地元の住民の方々への働きかけをより工夫することが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

暑い時期での計画なので、救急対策が重要。水質調査の会場は、事前に冷房を入れておき、暑さ対策も兼用する。

(12) その他

2.4 活動4 溜りモニタリング

(1) 活動目的

近年、木津川の河床低下が進行し、高水敷が広がるにつれて河川敷の溜りが消滅したり、水位が低くなって環境が悪くなり生物が生息しにくくなる状況が目立っている。1990年代はイタセンパラの生息していたタマリでは、タイリクバラタナゴを見る事すらできない状態になっている。今後も河床低下が進むことが予想される中で、溜りの状態を継続観察し、溜りの保全に役立つよう記録を残しておきたいと考える。また、ゴミなどの撤去も行い溜りの環境保全に努めていきたい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	22日(日) 溜りモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者へ連絡 ・調査まとめ ・まとめを関係者に通知
	5月		↑ 随 時 行 う ↓
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月	26日(土) 溜りモニタリング	
	2月		
	3月	16日(土) 溜りモニタリング	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者へ連絡 ・調査まとめ ・まとめを関係者に通知

(2) 参加対象者・定員

参加対象：親子川の学校参加者、溜りに興味のある方

(3) 実施内容

木津川市開き橋下流から八幡市木津大橋下流までのワンドの観察、調査、撮影をする。

- 9:30 集合：趣旨説明、現地説明、諸注意
- 9:40 溜りの観察、魚、貝などの調査
- 11:40 まとめ（捕れた魚の確認）
- 12:10 解散 後始末

(4) 実施日：平成24年4月22日（日）、平成25年1月26日（土）、3月16日（土）

- ・原則、雨天中止
- ・河川水位上昇により危険と判断した場合、中止および延期の措置をとる

(5) 実施場所

木津川市開き橋下流～八幡市木津大橋下流



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載
- ・関係者への募集

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ：やましろ里山の会：2名（運営補助、参加者への安全対策）

(8) 必要支援内容

国土交通省 募集案内チラシの印刷、募集チラシの郵送

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・観察, 採集、写真撮影、記録
- ・まとめのニュースを発行する

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・記録用紙を作成して調査結果を残していく（ニュースなど）

(11) 活動を行ううえでの課題等

2.5 活動5 木津川市環境祭り

(1) 活動目的

木津川市環境祭りへの参加も4回目となり、昨年はボトルアクアリウム作りと木津川の魚の水槽展示、パネル展示を行った。パネルについては、「木津川の環境悪化とそれへの取り組み」というテーマで水質、ゴミ、外来種（ジャンボタニシ）駆除の取り組み結果を掲示した。

ボトルアクアリウム作成に必要な空き瓶は多くの方の協力で集めることができ、当日は親子川の学校参加者の協力でスタッフとしてボトルアクアリウム作成を指導してもらう事ができた。ボトルアクアリウム作りを楽しみにして参加してくるリピーターも増えている。

今年も、環境祭りを通して木津川環境、歴史・文化を普及しながら、主体的に活動に参加する仲間を増やしていきたい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		環境祭り参加申込
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		実施計画の立案
	10月		展示物、ワークショップ準備
	11月	17日(土) 環境祭り、魚水槽展示 ボトルアクアリウム作り パネル展示	展示、ワークショップ アンケートまとめ 活動のまとめ
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象 : 運営会議対象区域内の流域住民

定員 : 制限なし

(3) 実施内容

- 魚の水槽コーナー
- 木津川の歴史、環境の展示
- ワークショップのコーナー (ボトルアクアリウム)

(4) 実施日

11月17日(土)

(5) 実施場所

木津川市リサイクル研修センター



(6) 広報・募集方法

木津川市リサイクルセンターの広報

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：

やましろ里山の会・森林ボランティアサン・フォレスター等3名(運営補助)

(8) 必要支援内容

国土交通省 資料アンケート印刷、河川レンジャーの展示物準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・資料および展示物作成、魚およびボトルアクアリウム作成の材料集め
- ・協力スタッフ依頼と手配、打ち合わせ
- ・借用物の手配と点検
- ・当日の運営
- ・アンケートまとめ、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

木津川の歴史、環境の課題をアピールする展示物を作成する。
ボトルアクアリウムを作りたい人は空き瓶を持参するよう広報で伝える。

(11) 活動を行ううえでの課題等

スタッフを募集する。

(12) その他

2.6 活動 8 出前授業

(1) 活動目的

小学校の総合学習、クラブ活動やPTAの活動、地域の団体など木津川や川に関係した学習・ワークショップ、木津川の文化・歴史・自然調べが計画されており、子どもたちも楽しんで学習している。

昨年は城陽市古川小学校4年生の古川学習、木津川市木津川台小学校PTA主催の「おもしろ教室」でのボトルアクアリウム作り、城陽市図書館での魚とり会など3回出前授業をしてきたが、レンジャー活動と木津川への理解を広げていく上でも地域教材を開発し、出前授業を積極的に進めていきたい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	希望を募る。学校訪問、案内の発送	授業プラン作成
	5月		授業プラン作成
	6月	要請に応じて	授業プラン作成
	7月	出前をする	
	8月		
	9月		
	10月	木津川台小学校 ボトルアクアリウム作り 出前	
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月	▼	活動のまとめ
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 : 小学生

定員 : 特になし

(3) 実施内容

○木津川、支流の生き物と木津川

○ジャンボタニシの駆除活動と川作り

○水質検査、水の浄化、ボトルアクアリウムづくり

○木津川堤防の植物と歴史

(4) 実施日

学校、地域団体の要請による。未定

(5) 実施場所

木津川沿川小学校 図書館、地域の自然環境団体

(6) 広報・募集方法

学校訪問、学校へ資料郵送

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

特になし

(8) 必要支援内容

国土交通省 資料印刷、教材教具の購入

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

計画作り、資料づくり、学校訪問、打ち合わせ、現地下見、当日の授業感想、アンケートのまとめ、活動のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

地域教材を開発して積極的に学校訪問をしていく。

(11) 活動を行ううえでの課題等

2.7 活動 10 いい川づくり 木津川ワークショップ

木津川は他の三川と比べると河原も広がり、浅瀬、ワンドもあり水生生物も豊かで親子で魚とりに楽しめる川であり、「親子川の学校」や「川で遊ぼう魚をとろう」などで多くの親子が木津川で遊んできた。

しかし、年々河床低下の進行により、ワンドやタマリが少なくなるとともに魚の量も減り、安心して魚とりに楽しんだり遊んだりする水辺が無くなってきた。また、木津川沿川活動団体交流会を開催し、学習、交流する中で木津川が年々悪化していることも分かってきた。

こうしたことを踏まえ、まず山城大橋下流の河川敷、ワンド、タマリに「生き物と人にやさしい水辺作り」を目指してワークショップを行い、どのような水辺作りをしていったらよいか地域住民と一緒に考えて「生き物と人にやさしい水辺作り」ができるよう努力したい。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		実施計画の立案 広報手配 チラシ作成 案内文書郵送 チラシ配布
	5月	27日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (1)	資料作成 参加者名簿作成 アンケート作成 当日の運営 アンケート含め、活動のまとめ
	6月		
	7月	22日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (2)	資料作成 参加者名簿作成 アンケート作成 当日の運営 アンケート含め、活動のまとめ
	8月		
	9月	2日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (3)	資料作成 参加者名簿作成 アンケート作成 当日の運営 アンケート含め、活動のまとめ
	10月	14日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (4)	資料作成 参加者名簿作成 アンケート作成 当日の運営 アンケート含め、活動のまとめ
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月	19日(土) 木津川沿川活動団体交流会	ワークショップの結果の報告
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民

定員 50人

(3) 実施内容

- 5月27日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (1)
山城大橋河川敷のワンドの観察
ワンドの生き物、水質を調べる、
近畿子どもの水辺交流会 参加児童の報告(予定)
- 7月22日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (2)
山城大橋河川敷の溜りの観察
河川敷のよいところ、悪いところを整理する。
- 9月2日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (3)
イタセンパラについての講演(内容、講師は未定)
「こんな水辺がほしいプラン」を作る
- 10月14日(日) いい川づくり 木津川ワークショップ (4)
「私たちの水辺プラン」をまとめる
維持管理していく方法を考える
- 1月19日(土) 木津川沿川活動団体交流会にて報告をし、意見を求める。

(4) 実施日

5月27日(日)、7月22日(日)、9月2日(日)、10月14日(日)

(5) 実施場所

京田辺市中部公民館 せせらぎ 山城大橋下流河川敷



(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・ 募集案内の送付協力
運営会議対象区域内の公的施設・活動団体への参加案内送付
運営会議対象区域内自治体の広報誌への記事掲載依頼
- ・ 資料、アンケート印刷
- ・ 淀川管内河川レンジャーの展示物、配布物準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画を立案

募集案内作成 後援申請書作成と配布

参加者募集チラシ作成 参加申し込み受付

協力スタッフ依頼と手配 当日の進行プログラム作成 打合せ

展示物準備・作成 参加者名簿作成

当日の運営 アンケートまとめ 活動報告まとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

淀川河川事務所、木津川出張所、淀川環境委員会と情報交換しながら行っていく。

(12) その他

3. 平成 24 年度 田中河川レンジャー年間活動計画

3.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする 田中実知世レンジャーは以下の活動テーマのもと、12の活動を実施します。

活動テーマ

大好きな木津川だから、より多くの人に「来てほしい」「知ってほしい」「好きになってほしい」。そのために地域と行政と連携・協力しながらともに汗を流し、木津川の川環境をまもりたい。木津川のすばらしさをより多くの人に発信したい。また今年度は木津川で起きている河床低下の現状を把握し、これからの「いい川づくり」につなげたいです。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	活動1 川の自然観察会…野鳥 活動2 木津川クリーンアップ（共同） 活動3 イベント併設10分間クリーンアップ （活動1に併設） 活動4 近畿子供の水辺交流会発表のための 山城大橋ワンド継続調査（生き物、地形、水質）
防災・救援・救難の推進を図る活動	活動5 親子水辺の安全講習会 出前講座
河川に係わる歴史・文化の普及・啓発活動	活動6 川の構造物見学会 （流れ橋工事現場見学会、その他随時） 活動7 上流域との交流 木津川源流探検 活動8 木津川展（共同） 活動9 木津川マラソン河川レンジャー展（共同） 活動10 近畿子どもの水辺交流会での発表
行政と住民のコーディネート	活動11 木津川沿川活動団体交流会（共同）
川づくりまちづくりへの参画活動	活動12 木津川の河床低下モニタリング・ヒアリング調査

平成 24 年度 年間スケジュール (案)

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月	20 日 (土) 川の構造物見学会 流れ橋工事現場見学	1 (日) 親子花見の会展示企画は実行 委員会から要請があれば実施
	5 月	19 日 (土) 川の自然観察会 (野鳥)	
	6 月	17 日 (日) 木津川クリーンアップ	淀川発見講座・レ ンジャー養成講座 共同
	7 月	随時 親子水辺の安全講習会 出前講座	
	8 月	19 日 (日) 上流域交流 木津川源流探検	
	9 月	23 日 (日) 川の自然観察会 (野鳥)	
	10 月	21 日 (日) 城南衛生管理組合 環境まつり出展	
	11 月	23 日 (祝金) 川の自然観察会 (野 鳥)	
	12 月		京都環境 フェスティバル
平成 25 年	1 月	19 日 (土) 木津川沿川活動団体 交流会	共同
	2 月	2 日 (土) 近畿子どもの水辺交流会 発表	共同
		3 日 (日) 木津川マラソン レンジャー展	共同
3 月	10 日 (日) ~ 16 日 (土) 木津川展	共同	
	10 日 (日) 川の自然観察会 (野鳥)		

年間随時

河床低下

モニタリング・ヒアリング調査

4
~
11
月随時「子どもの水辺」山城大橋ワンド継続調査(生き物、地形、水質)

3.2 活動1 川の自然観察会（野鳥を中心として生態系全体にわたって）

（1）活動目的

木津川の河川敷は、高水敷の樹林帯からアシなどの草地、砂地や礫の河原、豊富なタマリやワンド、滔々と水の流れる川面など、野鳥の観察に適した様々な自然条件を揃えている。

四季を通じて自然観察会を実施することにより、木津川の豊かな自然環境を実感し、次世代へ継承することの重要性を学び伝えていきたい。生態系の上位に位置する野鳥を、開橋の木津川流域センター周辺河川敷で定点観察し、木津川の生態系全体を理解することを目標とする。従って参加者の要望により野鳥だけでなく植物・昆虫なども観察できる状態にする必要がある。

参加者には、自然に興味を持つ大人や親子を想定しており、川の自然観察会を通じて木津川全体の生態系を大切にしていきたいという想いが世代を超えて広がっていくことを期待しています。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		講師打合せ チラシ作成・配布 モニタリング
	5月	19日（土）川の自然観察会 （春の野鳥） 木津川流域センター付近	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地調査 結果まとめ
	6月		講師打合せ モニタリング
	7月		9月チラシ作成・配布 モニタリング
	8月		講師打合せ モニタリング
	9月	23日（日）川の自然観察会 （夏～秋の野鳥） 木津川流域センター付近	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地調査 結果まとめ
	10月		講師打合せ 11月チラシ作成・配布 モニタリング
	11月	23日（祝金）川の自然観察会 （秋の野鳥） 木津川流域センター付近	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地調査 結果まとめ
	12月		モニタリング
平成 25	1月		講師打合せ 2月チラシ作成・配布 モニタリング

年	2月	10日(日)川の自然観察会 (冬の野鳥) 木津川流域センター付近 「木津川展」開催時期に実施	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地調査 結果まとめ
	3月		モニタリング

(2) 参加対象者・定員

参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定員：30人/回（参加者への講演等の理解の徹底と使用する会場の定員より設定）

(3) 実施内容

- ・活動目的説明（河川レンジャー）
- ・野鳥観察方法を教える
 - ・・・スコープ、双眼鏡の使い方、観察の心得等（講師：植田氏）
 - 野鳥以外にも植物・昆虫の観察もできる体制を整える。
- ・実際に野鳥を見て種類や特徴の説明
- ・雨天の場合、木津川流域センター室内で野鳥の展示説明、座学
- ・当日のプログラム
 - 8:30 受付開始 10分間クリーンアップ
 - 9:00 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介
 - 9:30 現地移動
 - 10:00 現場説明 注意事項の徹底
 - 10:15 観察開始
 - 11:30 まとめ（観察した鳥・昆虫の確認） 総括 感想 後方付け
 - 12:00 解散

(4) 実施日

実施日：平成24年5月19日(土)、9月23日(日)、11月23日(祝金)

平成25年2月10日(日)

少雨決行、雨天メニューで実施し、大雨や危険が予測される場合は順延を検討

(5) 実施場所

- ・木津川市山城町北河原 木津川流域センター付近河川敷



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載
- ・公共施設へのチラシ配布
- ・申込締切日：第1回 平成24年5月18日(木)
第2回 平成24年9月21日(金)
第3回 平成24年11月21日(水)
第4回 平成25年2月8日(金)

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

- 協カスタッフ：やましろ里山の会：5名（運営補助、参加者への安全対策）
- 講師：植田光弘氏（自然体験活動推進協議会インストラクター）

(8) 必要支援内容

- 国土交通省： 資料・アンケート用紙の印刷
河川レンジャー旗の借用
バインダー借用
観察ケース借用
野鳥下敷き支給
会場草刈り等の整備
講師謝金の支払い
講師の送迎
- やましる里山の会：野鳥観察用スコープの借用

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師・協力スタッフの手配、打合せ
- ・会場の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・当日の運営
- ・アンケート結果のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・木津川に生息する生き物が、その時期その時期の食物連鎖によってつながっている事を理解し、木津川の生物多様性を理解するきっかけとしたい。参加者と一緒に生態系ピラミッドを考え、自然はどれが欠けても成立しない。すべて大切な生態系の一部であることを学ぶ場としたい。
- ・そのため自然観察会での発見や参加者の興味により、植物・昆虫など多岐にわたり観察できる体制が必要である。
- ・昨年は「バッタのオリンピック」をテーマに9月に昆虫観察会を開催した。この観察会は参加者に好評で、実際に木津川にはよく来るがカワラバッタは初めて見たという人が多かった。また「バッタのオリンピック」という活動の仕組みは大人も子供も河原で夢中でバッタをつかまえて飛距離を競う（そのまま自然に放す）もので、楽しみながら昆虫を学べる優れたプログラムであった。しかし木津川に生息するカワラバッタは京都府絶滅寸前種に指定されており、木津川の河原の生態系や河床低下による環境変化を説明するためには最適な昆虫であるが、限られた環境でしか生息できない貴重なカワラバッタを毎年クローズアップするのは抵抗がある。次年度の隔年開催で実施したいと思う。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・広報活動について、現状以上の広がりが見いだせない。またイベントごとに広域の木津川沿川の各自治体の公民館などの公共施設に配布を行うのはたいへんな労力であり、効率的な広報活動体制の立ち上げがのぞまれる。

(12) その他

3.3 活動3 イベント併設 10分間クリーンアップ

(1) 活動目的

「木津川クリーンアップ」の項でも述べたとおり、自然豊かな木津川でもゴミ問題は深刻である。

またいったん大雨が降れば、堤防や河川敷に投棄されたゴミは木津川に流れ込み、下流の淀川にまで流れて流域全体のゴミ問題を引き起こすことになる。

「イベント併設 10分間クリーンアップ」は、河川レンジャー主催の自然観察会で木津川に来た方々にゴミ問題に気づいていただくと同時に、小さなクリーンアップに任意で参加いただき、ゴミのポイ捨てを許さない気持ちを持っていただきたい。以上の目的で自然観察会に併設して実施する。

また、この「イベント併設 10分間クリーンアップ」で木津川のゴミ問題を直視した方の中から、「木津川クリーンアップ」へ積極的に参加して下さる人材が創出できれば、これほど嬉しいことはない。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月	19日(土)川の自然観察会(春の野鳥) 木津川流域センター付近	イベント併設 10分間クリーンアップ実施
	6月		
	7月		
	8月		
	9月	23日(日)川の自然観察会(夏~秋の野鳥) 木津川流域センター付近	イベント併設 10分間クリーンアップ実施
	10月		
	11月	23日(祝金)川の自然観察会(秋の野鳥) 木津川流域センター付近	イベント併設 10分間クリーンアップ実施
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月	10日(日)川の自然観察会(冬の野鳥) 木津川流域センター付近	イベント併設 10分間クリーンアップ実施
	3月		

(2) 参加対象者

河川レンジャー主催の自然観察会に参加する方々

(3) 実施内容

- 自然観察会の受付が終わった方の中から自主的に参加していただく
- 木津川流域センター指定場所に集積し、淀川河川事務所木津川出張所が速やかに撤収する

(4) 実施日

平成 24 年 5 月 19 日（土）、9 月 23 日（日）、
11 月 23 日（祝金）、平成 25 年 2 月 10 日（日）

(5) 実施場所

各自然観察会の実施場所と同一

(6) 広報・募集方法

- 自然観察会の受付が終わった方に呼び掛ける。参加は強制ではない。参加自由。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ やましる里山の会、河川レンジャー（収集ごみのとりまとめ）

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ゴミ袋の支給、火ばさみの貸し出し
- 収集ゴミの早期撤収

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 自然観察会の受付が終わった方に呼び掛ける。参加は強制ではない。参加自由。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

一昨年度、11 月 3 日の「野鳥観察会 in 山城大橋」にて試行したところ、好評であった。

観察会の受付場所にゴミ袋とハサミを予め置いていたら、受付を早く済ませた人から自主的に周囲のゴミを拾ってくださった。一人がゴミ拾いをしているのを見ると、ごく自然にみなさん後に続いていただけで、主催者であるこちらが逆にびっくりした。木津川や自然を愛する参加者だからこそその行動であると、誇らしく思う。

自然観察に訪れた時よりも帰った後の方がきれいになるように、参加者の自主性にまかせながら長い目で効果を期待したい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

3.4 活動4 近畿子どもの水辺交流会発表のための山城大橋ワンド 継続調査 (生き物、地形、水質)

(1) 活動目的

平成 21 年度から木津川管内河川レンジャーの川の活動に参加する子ども達で、近畿「子どもの水辺交流会」に参加しています。

平成 21 年度は第 3 回近畿「子ども水辺交流会」京都大会で福井レンジャーにお世話になり、平成 22 年度は第 4 回奈良大会で福井レンジャー主催「親子川の学校」の活動報告を田中（正式レンジャーになる前の時期）が実務としてとりまとめ、平成 23 年度 2 月は田中レンジャー主催で兵庫大会に参加しました。

平成 23 年度兵庫大会には、7 名の小学生と幼稚園児が参加し、「木津川は、川ガキたちの遊び場だ！」のテーマのもと、元気に木津川での水辺活動をアピールしました。参加発表するにあたって複数回参加している子ども達や保護者の皆さんから、「木津川ならではの内容にしたい」「発表に出る自分たちで独自に調査研究したい」という要望が出て、以下の発表内容を話し合って決めました。

①木津川ならではの内容にしたい →木津川は、「ワンド」「砂の川」である事を調査・実感

→山城大橋ワンド調査、砂の川の特徴を見学

「自分たちのフィールドである山城大橋ワンドがここ 7 年で大きく変化していることを実感」

「木津川は砂の川なので、地形がわかりやすい」

「今年は特に台風による出水のため大きくかわった」

「木津川の砂はどこからきたの？南山城地域の山の花崗岩が風化して砂になり川に入った」

「河床低下がよくわかる近鉄鉄橋を見学。80 年で 2.5m も川底が下がっていた！」

「このままではワンドやタマリは消えてしまうかもしれない？」

そして、親子川の学校・鹿川の生き物調査で、

→前の年の調査にくらべてブラックバス、ブルーギルがふえた

そしてゼゼラやヨシノボリ、ドジョウなどの川底にいる魚がへっていた

→②**特定外来魚駆除のポスターをつくって、みんなによびかけよう！**

国交省淀川河川事務所木津川出張所、京都府山城南土木事務所、木津川市役所の協力を得て、木津川市鹿川にある船公園にポスターを掲出

平成 23 年 2 月 4 日の発表終了後、参加者からは来年度の大阪大会にも参加したい！という希望が早くも出ており今年度もレンジャー活動として主催する予定です。

次の発表を作成するにあたって希望が出ているのは

- ①自分たちの大好きなフィールドである山城大橋ワンドについて、生き物・地形・水質を継続調査したい。年間を通じて季節変化や、大雨などの出水の前後の変化を記録してデータを積み上げたい。
- ②鹿川で昨年度作った特定外来魚駆除啓発ポスターの効果があったかどうか検証したい。

という2点でした。

今年度は継続調査を続け、平成24年度大阪大会の発表に向けて準備したいと思います。同時に同じ興味を持つ子ども達、親子を活動に誘い、参加者の輪を広げていきたいです。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成24年	4月	4～11月随時 「子どもの水辺」山城大橋ワンド継続調査 (生き物・地形・水質モニタリング)	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成25年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者 近畿「子どもの水辺交流会」参加者と保護者スタッフ
実施日は随時なので、その時来ることのできる者で対応

(3) 実施内容

- 自分たちの大好きなフィールドである山城大橋ワンドについて、生き物・地形・水質を継続調査する。年間を通じて季節変化や、大雨などの出水の前後の変化を記録してデータを積み上げる。
- あわせて鹿川で昨年度作った特定外来魚駆除啓発ポスターの効果があつたかどうか検証する。

(4) 実施日 平成 24 年度 4 月～ 1 1 月 随時
季節変化や水量変化などがあつてレンジャーが必要と判断した日

(5) 実施場所 京都府城陽市 木津川右岸山城大橋ワンドおよび木津川市鹿川船公園周辺

京都府城陽市 木津川右岸山城大橋ワンド



(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・調査地のモニタリング
- ・実施計画の立案
- ・参加者、協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・参加者募集
- ・収集データの取りまとめ
- ・活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

川に入る活動なので水量の多い時は子どもは必ずライフジャケットの着用をすすめる。
子どもは保護者と一緒の参加を基本とする。

(12) その他

3.5 活動5 親子水辺の安全講習会

(1) 活動目的

木津川は日本でも有数の砂河川であり、豊かな砂洲、ワンド、タマリが形成されている。

そのため淀川流域の中でも、河原へ川の中へと人がアプローチできる箇所が多く自然のままの親水空間を形成している。それ自体は川で遊べる好ましい環境ではあるが、他方で常に水難事故の危険をはらんでいる川であるともいえる。

木津川での魚とりなどの活動で、親御さんからは「川は危険な場所だから、自分たちだけ行くのはこわい」という意見をよく聞く。今、子育て期のお父さんお母さん世代は、自身が子供の時分学校教育で「川は危険。近づくな」と教えられて育った世代であり、現在子育て期になったからといって自信を持って子供を川に連れていけなくても仕方のないことである。

しかし木津川管内河川レンジャーの活動などに参加して、川の楽しさや川環境の自然の豊かさに気付いてくださった方の中から、これから個人的にも木津川に入って遊びたいと思う方々が増えている。

川で、水難事故に遭わないためには、川から離れるのではなく、川の危険箇所や身の守り方について、自ら学ぶ必要がある。そこで河川レンジャーとして、「親子水辺の安全講習会」を実施し、川での危機管理意識を高め、自信と責任を持って川に入れる人を増やしたい。

この「親子水辺の安全講習会」は、最終的には実際に川に入りライフジャケットの必要性和浮力を体感したりスローバックを実際川で使用したりと実践的なプログラムを目指したいが、レンジャー本人やスタッフの力量不足が人命にかかわる事故につながる危険性があることから、当面は川の危険箇所の説明、ライフジャケットの正しい着用方法、スローバックなどの陸上から行う救助方法の紹介、淀川モバイルネットの活用術など、陸上でも室内でも講習可能な範囲で実施する。

昨年度の木津川管内河川レンジャー共同事業「川で遊ぼう！魚をとろう！in 山城大橋」では実際にライフジャケットを着用してもらい、ワンドでライフジャケットでの背浮きと親子でスローバック体験をおこなったが、子どもたちの中には背では浮けずにすぐにひっくりかえって「フシ浮き」体制になってしまうケースが頻発した。水に落ちた時や着衣泳の基本は背浮きであるので、これを徹底できる講習が必要と思われる。ライフジャケットを着て浮く体験を通して、もしもの水難に備えることができるのではないかと思う。

実施に関しては、沿川の幼稚園や小学校のプール授業や着衣泳授業との併用としての「出前授業」、プール施設での体験やデモンストレーションを想定したい。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		出前授業等の会場の可能性を打診
	5月		〃
	6月		〃
	7月	出前授業 体験とデモンストレーション	会場設定 ライフジャケット スローバック 資料
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	平成 25 年	1月	
2月			
3月			

(2) 参加対象者 沿川の幼稚園・小学校児童
プール施設の来場者

(3) 実施内容 川の危険箇所の説明
ライフジャケットの正しい着用方法
スローバックの紹介
淀川モバイルネット活用術

(4) 実施日 未定

(5) 実施場所 沿川の幼稚園・小学校、プール施設等

(6) 広報・募集方法 未定

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割 未定

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ライフジャケット、スローバックの貸出
- 各種資料提供
- 資料、アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 出前授業等の打診
- 実施計画の立案
- 当日の運営
- アンケートのまとめ、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

「親子水辺の安全講習会」は河川レンジャーとして川に入っでの活動を推進する立場としては、自転車の両輪の如く、必要不可欠なものであると感じている。将来的に川で実施することを目標としたいため、レンジャーおよびスタッフが川での講習を実践する機会をいただきたい。例えば河川レンジャー講習会の開橋に将来のスタッフも参加させていただく枠を設けていただけないか。検討をお願いしたい。

(12) その他

3.6 活動6 川の構造物見学会

(1) 活動目的

川にはよく見渡してみると、実に多くの構造物がある。樋門や排水機場、上流のダムなど、普段の散歩や運転中、あるいは地図にて見慣れているその構造物であるが、実はどんな目的で作られていて何をするものなのか詳しいことは一般には案外知られていない。その構造物が作られたいきさつ、目的、役割を知ることにより、災害に対する意識を高め、水の恵みを享受できる仕組みを学ぶ。また、その構造物を日々使命感を持って保守管理している職員がいることを知り、川にかかわる仕事への理解を深める。

環境の側面からはダムなどのコンクリート製大型構造物の是非が、現在論じられていることも事実である。また木津川の堤防が砂堤防であり、治水の観点からは改修の必要があるが、環境面からは植生保全との両立の難しさがある。

河川法の三本の柱である治水、利水、環境が両立するにはこれからどんな方向へ河川行政が向かうべきか、参加者がニュートラルな立場での説明を聞き、実物を見ることにより、その利点や問題点に気付いてほしい。そして未来への展望をそれぞれ想起していただければ有り難く思う。

今年度は、昨年秋の2回の台風による出水で壊れた「流れ橋」の復旧工事現場の見学を6月15日の開通前に、工事の状態が見学に適している時に行いたい。地元の名所として有名な「流れ橋」だが工事の途中に現場を見学できる機会はめったにない。一昨年も同様に工事現場見学を実施し好評であり、今回も見学会を設け、木津川ならではの構造物の学習会をしたいと思う。

また昨年の下ノ浜樋門や高山ダムのような見学会を実施できる状況が整えば、新たに事業として計画したい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	20日(土) 流れ橋復旧工事現場 見学会	実施計画の立案 会場の確認 案内チラシの作成 参加呼びかけの手配 雨天対策の検討 資料作成 安全対策の打合せ 講師・スタッフの打合せ
	5月		結果とまとめの作成
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 対象区域内の公共機関、図書館などでの募集案内チラシ配布

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

- 講師 京都府山城北土木事務所職員（工事現場説明）
流れ橋復旧工事担当者（工事現場説明）
- スタッフ やましろ里山の会

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 関係各署の紹介、講師の紹介
- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷

京都府山城北土木事務所、流れ橋復旧工事業者

- 復旧工事説明資料
- 参加者の安全確保

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案
- 講師依頼 協カスタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年の「下ノ浜樋門工事現場見学会」では樋門の役割の説明と、木津川の砂堤防のフル断面を見学する事ができ、参加者にも報道関係にも反響が大きかった。木津川出張所の今年度の工事計画では残念ながらそのような見学可能な工事が無い。もし樋門廃門工事の見学が可能になれば実施したい。その際の説明資料等もし木津川出張所になればレンジャーで調べてわかる範囲内の資料は作成します。

昨年の「高山ダム見学会」でも普段見る事のできないダム堤内の見学や、河川環境に関する講義など、河川レンジャーの取り組みならではの内容になった。今年度、同じ木津川上流ダム群の布目ダムの堆砂対策である「置き砂」を見学したいという希望はもっているが、何分京都府南部から距離が遠いことから現在思案中です。

今年度は現状では流れ橋 1 回のみエントリーしていますが、今後、川の構造物見学会としてふさわしい企画ができましたら随時実施したい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

3.7 活動7 上流域との交流 木津川源流探検（木津川上流管内河川レンジャーとの共催）

（1）活動目的

木津川は、三重県青山高原から流れ出て、京都府八幡市で宇治川・桂川と合流し、淀川となって大阪湾へそそぐ全長89kmの川である。私たちの活動地域である木津川流域は笠置大橋から三川合流地帯までであるが、そこからの上流部の源流地点から笠置までも、変化に富んだ自然と多くの人々の暮らしの中を通り、連綿と川の流れは続いている。

上流部の町である伊賀市上野は木津川と服部川・柘植川の三川が合流するため、また直下に狭窄部・岩倉峡をひかえることから、昔から深刻な洪水被害を受けてきた。

現在は合流部に最大容量900万 m^3 の遊水地ができ、100年に一度の洪水に耐えられる治水対策がなされている。しかし広大な遊水地は、広大な農地の犠牲があつてできたものであり、これは上野市街地だけでなく下流部京都府南部や大阪平野の洪水被害をも防いでいる。このことを下流の我々はもっと学んでおくべきである。上流部の歴史と現状を学ぶ機会を持ち交流としたい。

また今年度は自然面において源流部には最上流にオオサンショウウオ、上野周辺も豊かな川環境でたくさんの魚や水生生物が生息している。そして上流をフィールドに活動している河川レンジャーや団体や子供たちがいる。その場所を訪れ思いを共有することによってより深い交流をし、「木津川は一本」の思いを強いものにしたいと思います。

同じ木津川の流域に暮らす者として上流下流で交流する機会を設け、相互理解の場を創出したい。この「上流域との交流」の取組みは、以上の企画主旨に基づき、木津川上流管内河川レンジャーとの共催の企画実施とする。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月		河川レンジャーレベルの交流
	5 月		河川レンジャーレベルの交流
	6 月		実施計画の立案 交通手段の検討 会場の確認 案内チラシの作成 参加呼びかけの手配 雨天対策の検討 資料作成 講師・スタッフの打合せ
	7 月		実施計画の立案 参加呼びかけの手配 資料作成 講師・スタッフの打合せ
	8 月	19 日（日）上流域交流 木津川源流探検	実施と結果まとめ
	9 月		河川レンジャーレベルの交流
	10 月		河川レンジャーレベルの交流
	11 月		河川レンジャーレベルの交流
	12 月		河川レンジャーレベルの交流
平成 25 年	1 月		河川レンジャーレベルの交流
	2 月		河川レンジャーレベルの交流
	3 月		河川レンジャーレベルの交流

(2) 参加対象者

運営会議対象区域内の流域住民(小学生以下は保護者同伴)

定員 20 人

(3) 実施内容

- 企画主旨説明 木津川上流管内河川レンジャー
- 講師 木津川上流河川事務所職員
木津川源流に関してお話をうかがえる地元の有識者
木津川上流管内河川レンジャー
- 10:00 開会 木津川上流河川事務所伊賀上野出張所にて座学
- 11:00 木津川上流管内参加者と一緒に木津川源流探検
- 15:00 終了

(4) 実施日

平成24年8月19日(日)

(5) 実施場所

木津川上流河川事務所 伊賀上野出張所



木津川源流（坂下より上流）



(6) 広報・募集方法

- 河川レンジャーホームページで募集
- 対象区域内の自治体広報紙での募集案内
- やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- 対象区域内の公共機関、図書館などでの募集案内チラシ配布

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

講師・指導者・スタッフ

- 講師 木津川上流河川事務所職員
木津川源流に関してお話をうかがえる地元の有識者
木津川上流管内河川レンジャー

(8) 必要支援内容

国土交通省木津川出張所

- 関係各署の紹介、講師の紹介
- 募集案内チラシの印刷と郵送
- 案内チラシの郵送 名簿に基づく諸団体への送付
- マスコミ各社への催事案内記事の提供
- 資料、アンケートの印刷

国土交通省木津川上流河川事務所と木津川上流管内河川レンジャー

- 会場手配
- 集合地と木津川源流までの交通手段

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案
- 講師依頼 協力スタッフの依頼及び打合せ
- 募集案内チラシの作成
- 当日の運営
- アンケートのまとめ、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年「上野遊水地学習と上流域との交流学習会」をおこない、下流からの参加者は「遊水地を今回の活動で初めて知った」「下流は上流の方にしていただかないといけない事の多い立場。勉強になった」という声が出ました。これは私が本当に知ってほしかった内容で、木津川上流河川事務所管理課森下係長の素晴らしいお話に感動しました。

この活動を通じて、下流の我々は上流の遊水地や木津川の状況を知ることができ、それにもまして、上流の方々との交流を通じて「木津川は一本」であること、上流下流でお互いを思いやることの大切さを知る事が出来ました。木津川をより大切にしたい気持ちが全流域に広がることを願います。

(11) 活動を行ううえでの課題等

伊賀市上野への交通手段が懸案である。

開橋から伊賀市上野の木津川上流河川事務所伊賀上野出張所まで約 26km。車で約 1 時間半以上の距離である。電車でも近鉄・JR とともに複数回乗り替えしながら 1 時間半以上、駅からタクシー利用となる。希望者は誰でも参加できる仕組みを作るには、車に乗らない人も、長距離の運転が不安な人も、木津川流域センターを集合解散地として参加者がそろってバスに乗り伊賀市上野まで往復できるようご支援いただきたい。

参加者は、万一の往復運転時の事故の心配もなく安心して参加して頂けますので、ご検討お願いいたします。

また、昨年は上野出張所を出発して上野遊水地や川をめぐって見学するコースを木津川上流河川事務所手配の観光バスに同乗させていただき大変お世話になりましたが、今年度はどのように下流の我々も費用負担していくか、検討が必要です。

また、上流の活動団体に我々の「木津川展」に来ていただくとか、出展してもらおう等、上流の方々を下流にお誘いできる動きもしていきたい。

(12) その他

3.8 活動 10 第 6 回近畿「子どもの水辺」交流会大阪大会での発表

(1) 活動目的

近畿「子どもの水辺」交流会は、「身近な水辺活動を広く発信し、『水辺』への関心、上下流、・府県間など『水辺』に関わる子供たちの交流を深め、水辺活動の継続・広がり、地域ぐるみで共につくり、守り、育てる水辺づくりを目指す」ことを目的に、毎年近畿の各府県で開催される子ども中心の交流会である。2011 年度は兵庫県で 26 の団体が発表に参加した。

2009 年度、2010 年度と、福井レンジャー主催の「親子川の学校」・やましる里山の会木津川子ども部会より、参加者有志の子供たちが、木津川とその支流における魚とり調査、水質調査の結果をまとめ、発表してきた。2011 年度は田中レンジャーの主催事業として総合テーマ「木津川は、川ガキ達の遊び場だ！」のもとに「①ワンドと砂の川である木津川の山城大橋ワンドの 7 年の環境変化のまとめ」「②鹿川への特定外来魚駆除啓発ポスターの掲出活動」を発表した。

毎回子供たちは、自分たちの活動を発表にまとめる段階で活動のふりかえりをすると共に、普段の魚とり・水質調査を継続することの意義を見つめなおす。そして、本番の発表では自信をもってたくさんの人前で発表できるようになる。また他の団体の発表を聞いて、自分たちにはない切り口や考え方で活動していることに大きな刺激を受けてきている。そして始めて会った他団体の子供たちとも「水辺」という共通言語ですぐに仲間になれる体験をし、大きく成長して帰ってくる。昨年度の交流会終了後に「来年も参加したい人！」という質問をすると、大半の子供が挙手し、意欲を見せた。

今年度は昨年テーマにした山城大橋ワンドでの継続調査を中心に、自分たちのフィールドの年間変化を調べデータを積み上げて発表の方向性を探る。

参加者は昨年度の発表メンバーは大半が残る予定ではあるが、新規メンバーも募集してすそ野を広げる必要がある。木津川管内河川レンジャー活動の参加者で小学生の子どもを持つご家庭に、募集の告知をしていきたい。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月		参加者募集
	5 月		参加者募集
	6 月		参加者募集
	7 月		参加者募集
	8 月		参加者募集
	9 月		発表準備
	10 月		発表準備
	11 月		発表準備
	12 月		発表準備
平成 25 年	1 月	近畿「子どもの水辺」交流会 大阪大会で発表（開催日程未定）	
	2 月		
	3 月		

(2) 参加対象者

田中レンジャー主催昨年の「子どもの水辺」参加者と新規参加者
定員 なし

(3) 実施内容

第 6 回近畿「子どもの水辺」交流会 大阪大会での発表

(4) 実施日

平成 25 年冬？ 開催日程は未定（実行委員会より未発表）

(5) 実施場所 未定（実行委員会より未発表）

(6) 広報・募集方法

参加者、スタッフは固定
木津川管内河川レンジャー活動参加者に広報し募集

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

講師・指導者・スタッフ

- 指導者 河川レンジャー（田中）、やましる里山の会

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 発表にかかる材料物品準備
- 資料

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 発表準備
- 「子どもの水辺」実行委員会、京都府河川課との諸連絡

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

新規メンバーを募集する

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

3.9 活動 11 城南衛生管理組合「環境まつり」出展

(1) 活動目的

城南衛生管理組合「環境まつり」は、環境展示、リサイクル市、フリーマーケット、うまいもの横町などからなる、地域密着型のエコイベントです。

「城南衛生管理組合」は京都府南部の3市3町（宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町、井手町）の廃棄物行政の推進のために作られた一部事務組合（特別地方公共団体）である。そのため今回の「環境まつり」にもそれらの3市3町より無料シャトルバスが運行されており集客エリアは広いと思われる。

昨年の出展は、河川レンジャー運営会議で運営委員の谷口さんより是非出展を、と紹介されたものであり、昨春から手探りで主催者と連絡を取り、審査の上、出展を許可していただいて実現したものである。

出展が決定してからの諸連絡、搬入、実施、撤収まで、主催者窓口である城南衛生管理組合広報情報課の皆様には、大変お世話になりました。

谷口さんのお話通り、このような公共が高く集客力のある環境イベントにて河川レンジャーが出展することは、レンジャー活動のPRとともに、木津川へのファン作りに意義があると思いました。また木津川レンジャーがなかなかカバーしきれていない三川合流手前の下流部地域のモニタリングとしても有効だった。

昨年の現場では一息つく暇もないぐらいひっきりなしに来客があり、レンジャー活動についての展示を見る人、生き物の展示水槽を興味深く見る人、工作やストーンペイントをする子ども達と大盛況でした。

今年度も昨年主催者と良好な関係が築けたため出展を依頼されており、昨年以上の楽しい展示と子ども工作メニューを計画したい。また今年度はステージイベントに子どもたちの近畿「子どもの水辺」交流会発表も加えていただきたい。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月		主催者との諸連絡
	5 月		今年度実施計画案作成
	6 月		〃
	7 月		〃
	8 月		〃
	9 月		準備物確認 現地テント場所確認
	10 月	21 日（日）環境まつり（日程未定）	活動と結果まとめ
	11 月		
	12 月		
平成 25 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2) 参加対象者

城南衛生管理組合「環境まつり」来場者の大人と子ども
定員 なし

(3) 実施内容

城南衛生管理組合「環境まつり」出展

(4) 実施日

平成 24 年 10 月 21 日 (日) ? 開催日程は未定 (実行委員会より未発表)

(5) 実施場所 洛南衛星管理組合グラウンド 八幡市三川合流付近



(6) 広報・募集方法

環境まつり来場者が対象のため
特にレンジャーで募集活動はなし

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

講師・指導者・スタッフ
○スタッフ やましろ里山の会

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 展示物の貸与（河川レンジャー紹介パネル等）
- 展示に関わる諸物品貸与（水槽等）
- 配布資料
- 展示物、配布物の印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 河川レンジャー活動のPR
- 木津川の生き物展示
- 子ども向けクラフト工作コーナー運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

八幡市、久御山町の自治体や地元活動団体との関係づくり

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

3.10 活動13 木津川の河床低下 モニタリング・ヒアリング調査

(1) 活動目的

昨年度、加茂文化センターロビー展「木津川が育んだ自然」において、木津川がかかえる問題点である河床低下についてパネルを作成する機会をいただいた。

まとめる中で、河床低下は近年起こったものではなく昭和40年代ごろ特に顕著に進行しているものであること、しかし環境や利水面で問題として表面化してきたのは近年であったことがわかった。その原因は上流からの土砂の流入がダムや砂防ダムによって減ったこと、下流の淀川の河川改修で水と一緒に砂もスムーズに流れてしまうこと、川砂採取をすることなどであることもわかった。

昨年度は総論的に河床低下を調べたが、今年度は各論的に、木津川のどの地点でどのような河床低下が起こっているのか、昔と今ではどう違うのか、それによって環境や利水にどのような影響が出ているのか、モニタリングやヒアリングをおこないデータを収集したい。

それを蓄積して分析することにより、木津川沿川で様々な視点で川や砂を見てきた人々とつながり、木津川をいい川にするきっかけを探したい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等	
平成 24 年	4月	「木津川の河床低下 モニタリング・ヒアリング調査」 ○年間随時 ○場所は木津川笠置から三川合流まで		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
平成 25 年	1月			
	2月			
	3月			

(2) 参加対象者

運営会議対象区域内の流域自治体・活動団体・住民・事業者、水利組合、漁協など。
また大学などの研究機関と連携できるかも模索したい。

(3) 実施内容

木津川の河床低下の現場に出向きモニタリング・ヒアリング調査

(4) 実施日

平成24年度中随時

(5) 実施場所 木津川 笠置より三川合流手前まで



(6) 広報・募集方法

レンジャーで情報収集し取材依頼する

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

- | | | |
|----------|----------|------|
| 講師 | 指導者 | スタッフ |
| ○ 協カスタッフ | やましる里山の会 | |
| ○ 講師 | 検討中 | |

(8) 必要支援内容

- 国土交通省
- 河床低下に関する情報提供・資料提供
 - 資料、アンケートの印刷
 - 木津川詳細地図の提供
 - 堤防のカギの貸与
- 自治体
- 自治体内での同様活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 木津川の河床低下のモニタリングとヒアリング
- 情報まとめ
- 情報蓄積、分析
- 次年度の活動への橋渡し

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

4. 平成 24 年度 山田河川レンジャー年間活動計画

4.1 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする山田レンジャーは以下の活動テーマのもと、11の活動を実施します。

活動テーマ

その昔泉川と称された木津川、又その多くの支流が汚染増加によって流域の住民から疎遠なものとなってきている。水質調査活動を住民の方々や子供たちとともに取り組み、汚染の実態を知り、汚染原因を共に考え、自然の残る身近な河川づくりにかかわる活動を支援する。又環境学習や総合学習などの支援を通して、水環境について考え行動する

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	木津川とその支流の水ウォッチング数回 木津川とその支流の水質モニタリング 木津川クリーンアップ（共同）
活動地域への河川環境啓発活動	魚採り企画での水質調査出前授業 小・中学生の環境学習や総合学習等の出前授業 宇治市環境展 宇治環境フェスタ 木津川展（共同） 木津川マラソン 河川レンジャー展（共同）
行政と住民のコーディネート	木津川沿川活動団体交流会（共同）
川づくりまちづくりへの参画活動	上粕川クリーン作戦(福井Rと共同)

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	備考
平成 24 年	4月	28日(土) 名木川水ウォッチング(※)	
	5月	27日(日) いい川作り木津川ワークショップ (1) 水質調査出前授業	
	6月	初旬1週間 宇治市環境展 17日(日) 木津川クリーンアップ	共同
	7月	14日(土) 上狛川クリーン作戦(※) 29日(日) 山田川水ウォッチング(※)	
	8月	5日(日) 親子川の学校 in 和束川 水質調査出前授業	
	9月	15日(土) 古川水ウォッチング(※) 30日(日) 親子川の学校 in 鹿川 水質調査出前授業	
	10月	6日(土) 第2回木津川一斉水ウォッチング (※)	
	11月	18日(日) 山田川水ウォッチング(未定)(※)	
	12月		
平成 25 年	1月	中旬 上狛川水質モニタリング 19日(土) 第5回木津川沿線活動団体交流会	共同
	2月	3日(日) 木津川マラソン河川レンジャー展 10日(日)~16日(土) 第4回木津川展	共同 共同
	3月	日程未定 宇治環境フェスタ	

水質調査や総合学習での出前授業は、依頼あれば随時実施。

(※) 水質モニタリングも同時に実施。

4.2 木津川とその支流の水ウォッチング

(1) 活動目的

木津川流域では多くの支流が生活排水などで汚れる中、地元地域で清流を再び取り戻し、自然の豊かな川に戻し、みんなが憩える場所にしたいと、地道に取り組んでいる団体や住民の方々がおられる。又、活動まで至らないが何とかしたいと考えている方々もおられる。

そこで水質調査活動を住民の方々や子供たちとともに取り組み、汚染の実態を知り、汚染原因を共に考えることで、自然の残る身近な河川づくりにかかわる活動を支援することを目的に開催することとした。水質調査の結果を地域に返すことを継続することで、地域の方々に「地元の川は自分たちで守る」という意識を育成することも大きいねらいの一つである。又、行政施策の効果は、中小河川ではっきり出てくることが多いので、この調査結果は行政の方々の努力を評価することにもなり、住民と行政の関係を身近にする契機にもなり得るものである。

なお、長期的には各支流の調査結果に木津川本流の結果を加え、「木津川流域汚染マップ」を作成することを大きな目標としている。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	28日(土)第2回名木川水ウォッチング	
	5月		
	6月		
	7月	29日(日)第3回山田川水ウォッチング	
	8月		
	9月	15日(土)第2回古川水ウォッチング	
	10月	6日(土)第2回木津川一斉水ウォッチング	
	11月	18日(日)第4回山田川水ウォッチング(未定)	
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

※上記の河川以外の流域住民の方々からの要望に応じて、随時実施することもありうる。又上記日程は地域の団体・住民の方々等と十分打ち合わせできていないものがあり、変更することや場合により中止することがあります。

(2) 参加対象者・定員

対象河川流域住民を中心に、広く運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
定員 20 名

(3) 実施内容

- ・お話し、あるいはプレゼンテーション：〇〇川の昔と今（例）
- ・河川観察（ゴミ拾いをしつつ）と水質調査用採水
- ・パックテストによる水質調査
- ・水質調査の結果とまとめ（河川レンジャー）
- ・当日のプログラム(例)
 - 9:30 集合
 - 9:40 河川レンジャーの挨拶・趣旨説明・本日の予定と諸注意
 - 9:50 お話し、あるいはプレゼンテーション
 - 10:00 河川観察・採水・クリーンアップ
 - 11:00 休憩
 - 11:00 水質調査
 - 11:40 水質調査の結果とまとめ
 - 12:00 解散

(4) 実施日

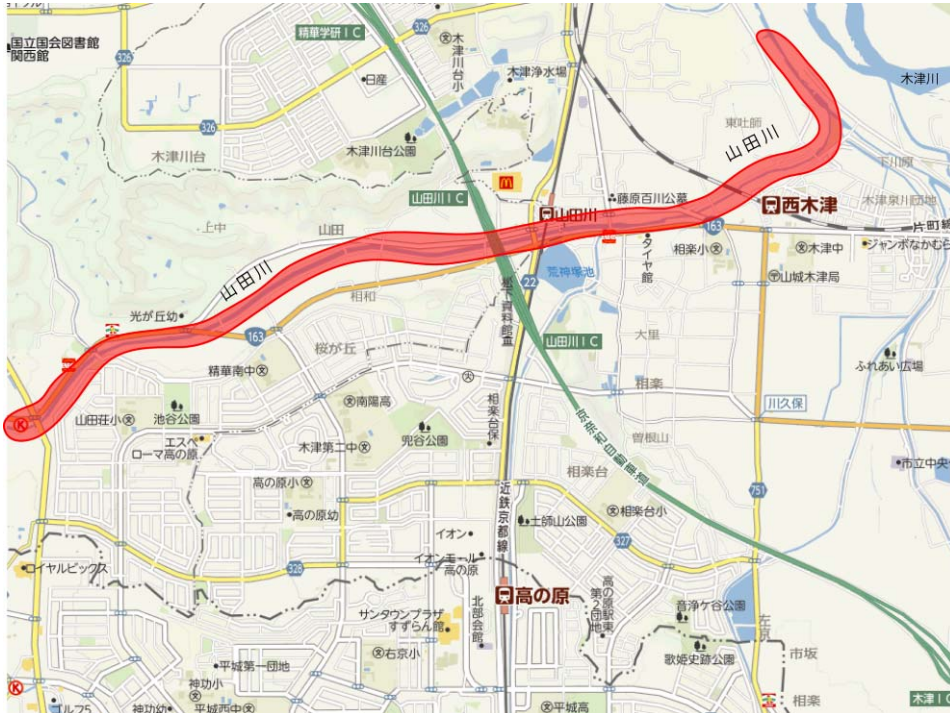
- ・4月28日(土) 第2回名木川水ウォッチング
(集合場所：広野公民館)
- ・7月29日(日) 第2回山田川水ウォッチング
(集合場所：未定)
- ・9月15日(土) 第2回古川水ウォッチング
(集合場所：未定)
- ・10月6日(土) 第2回木津川一斉水ウォッチング
(集合場所：木津川流域センター)
- ・11月18日(日) 第2回山田川水ウォッチング
(集合場所：未定)

(5) 実施場所 ・各河川の沿川 (詳細は未定)

- ・4月28日(土) 第2回名木川水ウォッチング
(集合場所: 広野公民館)



- ・7月29日(日)、11月18日(日)第2回山田川水ウォッチング(集合場所: 未定)



- ・9月15日(土)第2回古川水ウォッチング(集合場所：未定)



- ・10月6日(土)第2回木津川一斉水ウォッチング
(集合場所：木津川流域センター)



(6) 広報・募集方法

- ・河川レンジャーホームページに募集案内掲載
- ・対象流域公共施設での募集案内設置
- ・やましろ里山の会ホームページに募集案内掲載
- ・対象河川流域の各諸団体への案内
- ・区長への協力依頼と回覧板での広報
- ・一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
(広報や募集案内も、地域の方々や住民団体の希望により様々になる。)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：やましろ里山の会 2名、各河川流域住民 2名
講師(予定)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・募集案内チラシの印刷と郵送
- ・資料・アンケートの印刷
- ・水質調査用物品の購入と貸し出し(パックテスト・バケツ・柄杓・じょうろ・ビニールひもなど)
- ・標準色表の印刷物をラミネートしたものの作成と貸し出し(下敷きにも使えるもの。)
- ・クリーンアップに使う物品の借用
- ・河川レンジャー幟の借用
- ・講師謝金の支払い
- ・会場使用料の支払い
- ・必要に応じ、移動手段の手配
- ・マスコミ各社への催事案内記事の提供

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・各河川流域の自治体の後援依頼
- ・会場の手配。
- ・募集案内チラシの作成含め広報活動
- ・講師の手配と打合せ
- ・協力スタッフの手配と打合せ
- ・水質調査用具・パックテスト等の準備
- ・水質調査用紙・アンケート用紙の作成
- ・当日の運営
- ・アンケートを含め、活動のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度から実施した活動内容である。地域の主体性が育成されるように、可能な地域では、地域の住民組織と共催という形を取るなどして、実施したい。又組織のない流域では、そうした住民の組織化につなげていきたい。さらに共催の場合、請負にならないよう企画について丁寧な相談をしていくことが重要である。

又昨年度は、古川水ウォッチングで行政からの参加があったが、今年度は行政の参加案内を丁寧に行っていきたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

魚採りや野鳥観察と違い、楽しさで人を集めることは困難な企画なので、できるだけ地域の様々な組織や団体と如何に連携を作り上げていけるかが最大の課題です。同時に、企画の工夫として野鳥や植物・魚等の自然を楽しむ内容を繰り返すことも考えていきたい。

(12) その他

4.3 魚採り企画での水質調査出前授業

(1) 活動目的

河川レンジャーの企画する川の学校は、従来魚採りを中心とした企画がメインでしたが、木津川管内では併せてバックテストによる水質調査の体験を組み込むことで水質にも関心を持ってもらえるような企画が取り組まれてきた。特に、この2年間の親子川の学校では、体験を継続することで川の汚れを気にできる子供たちが生まれ、中には川の汚れと生息する魚の種類の間わりを考える子供たちも現れてきている。

こうした経験を元に、ひいては川の環境保全に関心を寄せ、行動につなげる子供や保護者の育成をねらいとして出前授業を実施する。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	要請に応じて、随時実施。	
	5月	〃 〃	
	6月	〃 〃	
	7月	〃 〃	
	8月	5日(日)親子川の学校 in 和東川	
	9月	30日(日)親子川の学校 in 鹿川	
	10月	要請に応じて、随時実施。	
	11月	〃 〃	
	12月	〃 〃	
平成 25 年	1月	〃 〃	
	2月	〃 〃	
	3月	〃 〃	年間まとめ

(2) 参加対象者・定員

魚採り企画に参加している子供・保護者

定員は、魚採り企画の定員

(3) 実施内容

魚採り企画のプログラムに添って実施。

<企画内容>

- ・スタッフの協力で採水は実施。(但し、採水方法は全体で説明しておく。)
- ・パックテストによるCOD測定を子供たちに指導。(企画に応じて、項目の追加も)
- ・他の項目(アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素)も含め、事前にスタッフで測定。
- ・最後に、結果の確認とまとめ(可能なら、生息していた魚との関係に触れる。)

(4) 実施日

8月5日(日) 親子川の学校 in 和東川 水質調査出前授業

9月30日(日) 親子川の学校 in 鹿川 水質調査出前授業

その他、要請に応じて、随時実施。

(5) 実施場所

魚採り企画の実施要項による。

(6) 広報・募集方法

各魚採り企画の募集方法による。

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ やましろ里山の会 1名

(現地での採水・事前の水質調査・子供たちへの水質調査指導補助)

(8) 必要支援内容

- ・水質調査用物品の購入と貸し出し(パックテスト・柄杓・じょうろ・ビニールひもなど)
- ・標準色表の印刷物をラミネートしたものの作成と貸し出し(下敷きにも使えるもの。)
- ・まとめ一覧表用紙印刷 ・マジック等の購入
- ・公共交通手段がない場合など、必要に応じた移動手段の手配

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・魚採りの企画レンジャーとの事前打ち合わせ
- ・水質調査の指導内容の企画立案
- ・水質調査用物品の事前打ち合わせと準備依頼
- ・水質調査のまとめ(子供や保護者に発信)の作成

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度「親子川の学校」での水質調査出前授業をした経験を生かし、より安全で丁寧な指導を心がけたい。

(11) 活動を行ううえでの課題等

特に暑さ対策も含め可能なら、室内会場の確保が大切である。

(12) その他

4.4 環境学習・総合学習等の出前授業

(1) 活動目的

小・中学校では、総合学習や環境学習が取り組まれている。しかし身近な河川や木津川を題材とした内容の体験的な学習は少ないのではないだろうか。水質調査を含めた体験的な学習を提供することで、水環境保全への理解を深めていきたい。

又昨年は、住民団体の地域行事への出前授業にも取り組んだが、今年度も要望に応じて出前授業に取り組みたい。

又高校の理科教育の中で、学校独自設定科目「地球環境」を数年にわたり取り組んできた経験を生かせたらと考えている。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	要請に応じ、随時実施。	授業プラン作成
	5月	27日いい川作り木津川ワークショップ(1) 水質調査出前授業	
	6月	要請に応じ、随時実施。	
	7月	〃 〃	
	8月	〃 〃	
	9月	〃 〃	
	10月	〃 〃	
	11月	〃 〃	
	12月	〃 〃	
平成 25 年	1月	〃 〃	
	2月	〃 〃	
	3月	〃 〃	出前授業のまとめ

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 小中学生が中心と考えているが、内容により大人向けの講演も可。

定員 依頼により決定。

(3) 実施内容

例

- ・水のイロハと水質調査（小学生対象）
- ・木津川とその支流の汚染について（中学生や大人）
- ・水の重要性と様々な水汚染について（中学生や大人）

(4) 実施日

5月27日(日)いい川作り木津川ワークショップ(1)水質調査出前授業

依頼により決定

(5) 実施場所

依頼により決定

(6) 広報・募集方法

教育委員会や学校への資料配布等

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

依頼内容による。

(8) 必要支援内容

国土交通省

資料印刷・パックテスト等の購入、水質調査に伴う資材の貸し出し

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

授業計画の立案、資料づくり、打合せと下見、まとめの作成

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度は、古川小学校4年生総合学習への出前授業を2回実施。流域住民団体のイベントへの出前授業としては、防賀川ワークショップ(8/27)・精華町せいか祭り(11/20)で実施。

小学校総合学習の場合、興味・関心を引く内容の工夫、又質疑応答を含めゆったりした時間配分による展開計画を作る必要がある。

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

4.5 木津川とその支流の水質モニタリング

(1) 活動目的

2009年度までは、木津高校化学クラブ顧問として「木津川とその支流の水質汚染について」夏と冬の年2回水質調査を実施してきた。昨年度は、水ウォッチングを実施した河川を中心に、地域から要望された河川も取り入れてモニタリングを実施した。(ユニメーターや器具は、やましろ里山の会の協力によっている。)特に10月8日の木津川一斉水ウォッチングでは、本流4地点支流17地点のモニタリングを実施した。

今年度も、河川レンジャー活動として「水ウォッチング」を実施するが、その対象河川の正確なモニタリングを中心にして実施していきたい。その最大の目的は、外部に対しても信頼の置ける測定を行うことで、川の環境を水質という点から明確化し、環境保全の取り組みの進み具合や目標を明らかにすることである。

更に、これらのデータも水ウォッチングで目標とした木津川汚染マップ作成に生かしていきたい。また、環境学習の出前授業での教材として活用することで、川の水環境保全活動に貢献できるものと考えている。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月	名木川数地点	採水道具・pH計・温度計・ カメラ・水質調査用紙
	5月		
	6月		
	7月	上狛川・山田川各数地点	
	8月		
	9月	古川数地点	
	10月	6日(土) 木津川一斉水ウォッチング 木津川本流4 支流16	
	11月	山田川数地点	
	12月		
平成 25 年	1月	中旬 上狛川数地点	
	2月		
	3月		

※水質モニタリングは、水ウォッチングの水質調査まとめの基礎データ収集を目的に実施する予定です。従って、実施日も水ウォッチング当日となる場合が多い。

(2) 参加対象者・定員

特にはない。

(3) 実施内容

南山城村から八幡までの木津川とその主な支流を対象に、ユニメーターで水質調査を実施。主な項目は、水温・気温・pH・COD・アンモニア性窒素・亜硝酸性窒素・硝酸性窒素・全窒素・陰イオン界面活性剤である。

(4) 実施日

木津川支川は、水ウォッチングの当日を基本に実施。
10月6日(土) 木津川一斉水ウォッチング

(5) 実施場所

南山城村から八幡までの木津川とその主な支流



(6) 広報・募集方法

木津川支川は、特に公募はしない。但し、木津川一斉水ウォッチングは水の持ち込み企画も含め広報する。方法は、水ウォッチングと同様である。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

里山の会から、その時々に応じて必要な人数(1~10名)

(8) 必要支援内容

必要に応じて、移動・運搬手段
結果の発信が必要な場合、印刷など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

河川の観察、記録(写真含め)、水質調査とそのまとめづくり
結果の発信

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

多忙な中で、水質調査の分析・まとめ作成が1ヶ月遅れとなるが多かった。
もう少し、早くまとめを作成し、発信できればと考えている。

(11) 活動を行ううえでの課題等

同一地点の水質モニタリングを同時期に継続することで、データの信頼性をより高いものとする
こと、そしてそのデータを如何に住民や行政の方々に発信・広報していくのが課題である。

(12) その他

4.6 宇治市環境展出展

(1) 活動目的

地元宇治市では、河川レンジャーの活動がほとんど知られていないように思えるので、昨年に引き続き宇治市が毎年実施している環境展に展示物として「河川レンジャーの活動内容」「木津川や宇治市を流れる川の水質」などを展示しようと考えている。

展示を通して、河川レンジャー活動を知ってもらうこと、また川の水質変化を知ってもらい水環境保全の大切さを考えてもらうことをねらいとして、取り組みたい。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		パネルの内容検討 パネル作成、打合せ、下見
	6月	宇治市環境展(初旬1週間) (昨年と同時期なら6月4日~8日)	パネルの運搬と展示
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：宇治市民

定員：宇治市役所のロビーで実施するので、特になし。

(3) 実施内容

展示

(4) 実施日

6月初旬1週間（日程未定）

(5) 実施場所

宇治市役所ロビー



(6) 広報・募集方法

宇治市の広報

河川レンジャーホームページ

やましる里山の会ホームページ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

(8) 必要支援内容

国土交通省

設置配付資料印刷・河川レンジャーニュースの準備

必要に応じて、運搬手段の提供、設置用資材の準備・購入

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

パネル内容の検討

資料・パネルの作成

広報活動

協力スタッフの依頼と打合せ

設置用資材の準備

活動のまとめ作成

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度は初めての参加で、参加の可否が直ぐ決まらない状況だったが、今年度は実績の上に立って早くから参加申し入れや準備を進める。

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

4.7 宇治環境フェスタ出展

(1) 活動目的

地元宇治市では、住民団体の環境に関する活動の紹介をねらいとして「宇治環境フェスタ」が例年3月に実施されている。今年も3月24日に実施ということで、体験コーナーを含む出展依頼が来た。今年度も引き続き環境フェスタに出展し、河川レンジャーの活動の紹介や「木津川や宇治市を流れる川の水質」などを展示しようと考えている。

展示を通して、河川レンジャー活動を知ってもらうこと、また川の水質変化を知ってもらい水環境保全の大切さを考えてもらうことをねらいとして、取り組みたい。

又、参加型の体験コーナー等も工夫していきたい。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		第1回打合せ
平成 25 年	1月		
	2月		パネル作成、第2回打合せ、下見
	3月	宇治環境フェスタ	パネルの運搬と展示 体験コーナーの材料・器具の準備

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：宇治市民他

定員：特になし。

(3) 実施内容

展示と要請に応じ体験コーナー

(4) 実施日

3月（日程未定）

(5) 実施場所

未定

(6) 広報・募集方法

宇治市の広報

河川レンジャーホームページ

やましる里山の会ホームページ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

やましる里山の会 1名

(8) 必要支援内容

国土交通省

設置配付資料印刷・河川レンジャーニュースの準備

必要に応じて、運搬手段の提供、設置用資材の準備・購入

体験コーナーの材料や器具の提供

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

パネル内容の検討

資料・パネルの作成

体験コーナーの企画と準備

広報活動

協力スタッフの依頼と打合せ

設置用資材の準備

活動のまとめ作成

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

4.8 上狛川クリーン作戦（福井Rと共同）

（1）活動目的

上狛は、周囲を堀に囲まれた集落で、長径約六百メートル、短径約三百メートルのほぼレモン形をした中世以来の環濠集落として有名である。かつては環濠がおよそ三間(約5.4メートル)もあって、地元では『浦の川』と呼ばれるほど水を豊かにたたえており、狛氏の居館のある狛城の堀であると同時に、農業用水路、悪水路として利用されていた。現在は、上狛川と呼ばれ、生活排水路・稲作用水路として利用されているが、水量の減少や水質の悪化が進み、10年前よりジャンボタニシの大量発生により、その歴史的景観を損なう事態になっている。上狛川を美しくする会や上狛東部農地水環境保全会と一緒に駆除活動をしてきたことで、ジャンボタニシ対策会議から農薬(スクミノン)の購入に補助金がつき、多くの田んぼで使用されたことでジャンボタニシも減少した。昨年は三者で会議を持ちながらクリーン作戦として、ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査・水質調査を実施したが、今年度も内容を工夫しながら実施していきたい。なお「上狛川クリーン作戦」は、昨年同様福井Rとの共同の企画である。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		地元の住民団体と打合せ
	6月		チラシ作成・広報
	7月	14日(土) 上狛川クリーン作戦	諸準備・運営
	8月		まとめの会議
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 25 年	1月		
	2月		
	3月		

（2）参加対象者・定員

参加対象者：木津川市住民 小学生以下は保護者同伴
定員：特になし

(3) 実施内容

- 9:00 集合・受付
- 9:10 河川レンジャー挨拶・共催団体挨拶・参加者紹介
- 9:20 日程説明と諸注意
- 9:30 ジャンボタニシ駆除・川掃除・生き物調査
- 11:00 水質調査
- 11:40 まとめと反省
- 12:00 解散

(4) 実施日

平成 24 年 7 月 1 4 日(土)

(5) 実施場所 木津川市山城町上狛川、山城支所



(6) 広報・募集方法

- ・河川レンジャーホームページで募集
- ・自治体広報紙での募集案内
- ・一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内
- ・やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで参加呼びかけ
- ・流域にある、公共施設などでの募集案内チラシ設置
- ・山城町上狛・椿井地区長への案内、各諸団体への案内
- ・流域の掲示板展示

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 上狛川を美しくする会、やましろ里山の会などより 5 名

(8) 必要支援内容

国土交通省 募集案内チラシ、資料、アンケートの印刷、河川レンジャー幟・バインダーの借用、救急セットの借用
上粕東部農地水環境保全会 網・水槽、バケツ・長靴の借用
自治体 広報紙での催事案内記事の掲載

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・呼びかけに賛同される皆さんや団体との打合せ
- ・協力スタッフの依頼及び打合せ
- ・募集案内チラシ、資料、アンケートの作成
- ・広報活動・参加者募集
- ・安全通路の確保と現地地下見
- ・参加申し込み受付、参加者名簿の作成
- ・当日の運営
- ・アンケートのまとめ、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

この取組が継続する中、ジャンボタニシ駆除薬スクミノンへの補助金の実現するという大きな成果が見られた。木津川市の職員の方々も参加・注目してきている取組を、今後も継続していくため、地元の住民の方々への働きかけをより工夫することが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

暑い時期での計画なので、救急対策が重要。水質調査の会場は、事前に冷房を入れておき、暑さ対策も兼用する。

(12) その他

5. 平成 24 年度 木津川管内河川レンジャー連携 年間活動計画

5.1 活動 3 木津川クリーンアップ（共同）

（1）活動目的

木津川右岸の北部地域は、農耕地が隣接すると同時に中流域では川が堤防まで迫り、主要国道が堤防上を通っている。左岸では、全域で一部人家の接近が見られるが比較的農耕地が広がり元風景も残され、散歩やサイクリング、河川敷公園で運動するなど利用する人が多い。そのため一部の堤防にペットボトル、空き缶、ナイロンなどのゴミが散乱している。

また、夏に近づくにつれ、河原や橋の下でバーベキューを行う人が増え、その周りに大量のゴミの放棄が見られる。そのゴミは、木津川に流れ込み、洪水とともに淀川へと流されていき淀川の景観を損なう状態を引き起こしている。

昨年は開き橋、山城大橋、流れ橋、木津川大橋 4 か所の拠点を決め、地域の団体に呼び掛けてゴミ拾いをする事ができた。今年は、早い段階に諸団体に取り組みを知らせ、協力をお願いしていくよう計画していきたい。

より多くの人達が木津川本流にそって清掃する活動に参加して頂くために、山村レンジャー、福井レンジャー、山田レンジャー、田中レンジャーの共同の取組とし実施する。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月		企画立案 広報手配 参加呼びかけ作業 チラシ作製 各団体への案内
	5 月	17 日(木) 呼びかけポスターの貼り出し	参加団体の打ち合わせ 参加名簿作 連絡受付 呼びかけポスターの貼り出し 50本
	6 月	17 日(日)木津川クリーンアップ	手袋、ゴミ袋配布 結果まとめ 収集物の撤収確認
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 25 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象：運営会議対象区域内的の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定員：特に制限なし

(3) 実施内容

山村レンジャー・福井レンジャー・山田レンジャー・田中レンジャー共催で実施

- 恭仁大橋から三川合流まで兩岸の土手の天端付近のゴミ拾いを行う。
- クリーンアップへの参加呼びかけポスターの設置を4週間前に行う。
- 工程
 - ・清掃は午前中の行動とする。
 - ・河川レンジーは4か所を分担して行う。
 - ・個人参加の場合、ゴミはポスター杭のある場所に置いてもらう
 - ・団体参加の場合は事前に参加予定人数と清掃範囲、責任者、ゴミ収集予定地の連絡を頂く。
 - ・ゴミ袋の提供を行う。事務所まで受取りに来ていただく。
 - ・終了時点で河川レンジーに連絡いただく。
- 国土交通省に収集ゴミを速やかに収集していただく。
- ◎プログラム
 - 8:30 割当エリア集合
 - 9:00 開会挨拶 趣旨説明 自己紹介 現場説明 注意事項の徹底
 - 9:15 清掃開始
 - 10:25 清掃終わり
 - 10:30 反省 解散
 - 11:30 ポスターの撤去 レンジャー集合 まとめ

(4) 実施日

平成24年 6月17日（日）

(5) 実施場所

呼びかけ範囲

恭仁大橋から三川合流付近までの範囲



(6) 広報・募集方法

- ・ 淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・ 運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・ やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・ 運営会議対象区域内の公共施設、図書館等への募集案内の送付
- ・ 河川運動公園を利用しているスポーツ団体に協力を呼びかける。

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

協カスタッフ：やましろ里山の会 5名（運営補助、安全管理）

(8) 必要支援内容

国土交通省 募集案内の送付、ポスター・チラシ印刷、チラシ送付、杭の提供50本
ポスターのラミネート50枚、ペニヤ板50枚、手袋・ゴミ袋の支給、
火ばさみの用意、収集ゴミの撤収

沿川自治体 広報紙での参加呼びかけなど

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・清掃活動参加呼びかけポスターの掲示貼り出し、チラシ送付
- ・広報活動
- ・参加者募集 参加申し出の受付
- ・ゴミ袋の支給手配
- ・当日の運営
- ・活動報告のまとめ
- ・立看板の撤収

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ポスター貼り出しを4週間前に行う。
- ・諸団体への参加要請の手紙とチラシを送付する。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- 収集したゴミの撤去を速く行う。

5.2 活動6 木津川展（共同）

（1）活動目的

木津川出張所管内流域センターで、以下の目的で木津川展を実施する。

- ・木津川の豊かな自然と抱えている問題点を、多くの流域住民にしらせ、木津川への理解を深める。
- ・木津川流域で活動する住民団体の活動の成果・様子を展示し、活動への共感と支援を広げる。又活動発表の場を提供することで、活動内容そのものを豊かにしていく契機としたい。
- ・展示発表参加を通じて、木津川流域で活動する多くの住民団体の交流を図り、相互理解を深め、活動の発展に寄与する。
- ・この取り組みを通じて、木津川の活動拠点としての流域センターを広く知らせていく。

以上の目的を具体化するため、この取り組みは、木津川出張所管内河川レンジャーが共同して事務局となり、流域の住民団体や個人に広く呼びかけ、木津川展実行委員会を組織して実施するものである。

平成24年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		木津川展の立案 実行委員会の案内
	11月		実行委員会開催 開催要項決定 後援申請
12月		第2回実行委員会 展示打合せ(会場含め)	
平成 25 年	1月		案内チラシ作成と配布 第3回実行委員会 開催中の日程と仕事の分担打合せ
	2月	10日(日)～16日(土)木津川展	活動のまとめ 後援団体への報告書提出
	3月		

（2）参加対象者・定員

特になし

出展団体数 10～15団体

(3) 実施内容

参加団体の作品や活動・成果の展示
子どもたちの作って遊ぼうコーナー
望遠鏡による野外観察（第1日目午前は、野鳥観察会を実施。）
スライド等による活動紹介

(4) 実施日

2月10日(日)～16日(土) 10時～15時

(5) 実施場所

木津川出張所管内流域センター



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャー ホームページに募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報への募集案内掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載
- ・新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼 当日の取材案内
- ・運営会議対象区域内の学校等教育機関、公民館、図書館などに募集案内チラシを設置。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

各実行委員会参加団体 各1名程度

協力スタッフ：やましろ里山の会 5名(運営補助・安全管理)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・ 募集案内の送付協力
運営会議対象区域内の公的施設・活動団体への参加案内送付
運営会議対象区域内自治体の広報誌への記事掲載依頼
- ・ 資料、アンケート印刷
- ・ 淀川管内河川レンジャーの展示物、配布物準備
- ・ マスコミ各社への催事案内記事の提供
- ・ 会場の木津川出張所管内流域センターの提供
- ・ 展示やコーナーの設置等に必要な物品

自治体

- ・ 自治体広報誌での催事案内記事の掲載
- ・ 自治体内での流域活動団体の紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実行委員会参加への呼びかけ作成

実行委員会の運営、要項作成など事務局を担当

後援申請の諸手続

参加者募集チラシ作成 展示参加申し込み受付

協力スタッフ依頼と手配 当日の打合せ

河川レンジャーの展示物準備・作成 参加者名簿作成

当日の運営 アンケートまとめ 活動報告まとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

運営会議対象区域内自治体で活動している住民団体名やその活動内容・連絡先の把握を如何に進めるか。

(12) その他

5.3 活動 7 木津川マラソン河川レンジャー展（共同）

(1) 活動目的

木津川マラソンは 29 年目を迎え、5000 人を超える手作りマラソン、環境マラソンとして全国各地から多くのランナーが集まるマラソン大会である。京田辺市草内運動公園を出発して精華町を折り返し、八幡市の三川合流地点を通過してゴールするコースは、自然の豊かな木津川堤防である。多くの参加者に木津川の歴史、自然、そして木津川の抱える課題など木津川展を通してアピールし、木津川を考える人々の輪を大きくしたいと考え、山村レンジャー、福井レンジャー、山田レンジャー、田中レンジャー4 人の共同企画として取り組みたい。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 25 年	1 月		企画立案 展示物の準備
	2 月	5 日（日）木津川マラソン 木津川展	前日準備 堤防ゴミ拾い 当日の運営、まとめ
	3 月		

(2) 参加対象者

全国のマラソン愛好家
定員 なし

(3) 実施内容

草内運動公園周辺のパネル掲示
本部会場のランナーズショップテント内での展示

(4) 実施日

平成 25 年 2 月 5 日 (日)

(5) 実施場所

京田辺市草内木津川運動公園



(6) 広報・募集方法

河川レンジャーとしては行わない。

(7) 協カスタッフ等の人数とその役割

河川レンジャーで行うので無し

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 展示用のレンジャーポスターなどの提供

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案
- 当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

5.4 活動 9 木津川沿川活動団体交流会（共同）

（1）活動目的

木津川とその支流の流域には、多くの住民団体が組織され、昔のように綺麗で自然豊かな川環境を取り戻そうと活動している。

1997年河川法に「河川環境の整備と保全」が加えられ、環境に配慮した河川行政が開始され15年目に入ります。1 去年は、10月に名古屋で生物多様性条約COP10が開かれました。

しかしながら、私達が活動の場とする木津川は、ワンドやタマリの消失・魚の減少・水質の悪化など多くの課題を抱えたままになっています。こうした中、流域で活動する団体が集まり、木津川の現状と課題を学び、生物が多様に生育できる木津川の川づくりに向けた取組について考えあひ、相互の理解を深め、交流する機会を設けることは、重要な意義を持っている。この交流会も、そうした目的を遂行するための一環として、木津川出張所管内河川レンジャーが共同して企画するものである。

平成 24 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 24 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		実施計画の立案
	11月		後援依頼 チラシ作成 広報手配
	12月		案内文書郵送 チラシ配布 資料作成 参加者名簿作成
平成 25 年	1月	19日(土)木津川沿川活動団体交流会	アンケート作成 当日の運営 アンケート含め、活動のまとめ
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民
定員 100人

(3) 実施内容

基調講演
意見発表
分散会交流会
活動内容のポスター展示発表

(4) 実施日

平成 25 年 1 月 19 日(土)午後 1 時～4 時

(5) 実施場所

京田辺市社会福祉センター（京田辺市犬伏 5-8）



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報への募集案内掲載
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載（12月～1月）
- ・新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼 当日の取材依頼
- ・各自治体の公民館・図書館等の公共施設へのチラシ設置

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：やましろ里山の会 7名

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・募集案内の送付協力
運営会議対象区域内の公的施設・活動団体への参加案内送付
運営会議対象区域内自治体の広報誌への記事掲載依頼
- ・資料、アンケート印刷
- ・淀川管内河川レンジャーの展示物、配布物準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画を立案、自治体等への後援申請

募集案内作成 参加者募集チラシ作成 参加申し込み受付

協力スタッフ依頼と手配 当日の進行プログラム作成 打合せ

展示物準備・作成 参加者名簿作成

当日の運営 アンケートまとめ 活動報告まとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度の交流会は、ダム管理者、淀川からの生物・環境の専門家、行政関係者など上流から下流までのそれぞれの専門家の参加があり、情報交換、交流において画期的であった。

しかし市民団体が昨年より減少(6)し、交流という点では不十分となった。この原因は、行事が重なったり、新しい地域組織との関係が十分構築できていないことがある。昨年度のように多様な参加者を組織しつつ、市民団体への丁寧な働きかけが重要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

昨年度の内容は、木津川の現状と原因・解決方法などが基調講演や質疑交流の中で明らかになり、今後の木津川の川づくりを考えていく上でも大いに学ぶものがある素晴らしいものとなった。その意味では、市民団体や参加者の関心に応える内容を盛り込むと同時に、今後の住民参加の木津川づくりを見据えた内容を工夫することが大きな課題である。又京都府下に限らず、ユニークで楽しい川づくり等の活動を展開している住民団体・組織の活動から学ぶという視点も必要である。

(12) その他